

令和 6 年度
民間ネット調査報告書

「人権行政について」

大阪市 市民局

目 次

調査の概要

1 調査の目的	1
2 民間ネット調査の回答者数	2
3 調査結果について	2
4 留意事項	2

各質問の調査結果

(1) 「人権が尊重されるまち」指標について

人権全般

人権への関心	(問 1)	3
人権が尊重されるまち	(問 2)	4

個別の人権課題

女性	(問 3、問 4)	5
こども	(問 5、問 6)	7
高齢者	(問 7、問 8)	9
障がいのある人	(問 9、問 10)	11
同和問題(部落差別)	(問 11)	13
外国人	(問 12)	14
個人情報の保護	(問 13)	15
犯罪被害者等への支援	(問 14、問 15、問 16)	16
ホームレス	(問 17)	19
LGBT などの性的少数者	(問 18、問 19、問 20、問 21)	20

(2) 「インターネットにおける人権侵害」について

インターネット	(問 22)	24
---------------	----------------	----

(3) 「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」について

ヘイトスピーチ	(問 23、問 24、問 25)	25
---------------	--------------------------	----

【参考資料】 民間ネット調査 質問票	28
--------------------------	----

このアンケートに関するお問い合わせ先

大阪市民政局ダイバーシティ推進室人権企画課(電話 : 06-6208-7613)

調査の概要

1 調査の目的

(1) 「人権が尊重されるまち」指標について

大阪市では、「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」に基づき、市民が「人権が尊重されるまち」になったと実感できる、住んでよかったと誇りを持って語れる「国際人権都市大阪」をめざして、施策を推進しています。

本計画に基づく取組みにより、市民の皆様がどれだけ「人権が尊重されるまち」に近づいているかを実感していただくため、本市の進める施策・事業等について、人権の視点に着目して、関連の深い項目をとりまとめ、その進捗状況や達成目標をわかりやすく示した「人権が尊重されるまち」指標の公表を行っています。

問 1、問 2 では人権全般にかかる項目について、問 3 から問 21 では個別の人権課題にかかる項目について質問しています。

(2) 「インターネットにおける人権侵害」について

大阪市では、インターネットにおける人権侵害に対して、大阪市人権だより「KOKORO ネット」における特集記事の掲載や、企業を対象にした研修、市ホームページでの啓発を進めてきました。また、インターネット上での人権侵害が社会的な問題となっている状況を踏まえ、大阪市人権啓発・相談センターでの問題解決に向けたアドバイスに加え、弁護士による相談を令和 5 年 6 月から実施しています。

問 22 では行政として取り組むべき課題について質問しています。

(3) 「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」について

大阪市では、人種や民族に関して、人としての尊厳を傷つけ、社会に差別意識を生じさせるような言動である「ヘイトスピーチ」を許さないという認識のもと、啓発活動に取り組むとともに、平成 28 年 7 月 1 日より、市民の人権擁護と「ヘイトスピーチ」の抑止を図るため、「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」を全面施行し、「ヘイトスピーチ」と認定した案件についての公表や拡散防止の措置に取り組んでいます。

問 23 から問 25 では本市のヘイトスピーチに対する取組みにかかる項目について質問しています。

これら 3 つの項目について、市民意識を把握し、今後の参考とするため調査を実施しました。

2 民間ネット調査の回答者数

18 歳以上の大阪市民を対象とし、各年代（29 歳以下、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上）ごと 100 人ずつ、総計 500 人の回答を得るまで調査を行いました。（調査実施：令和 6 年 10 月）

3 調査結果について

各質問の回答について、単純集計、年代別集計を行っています。

令和 4 年度、令和 5 年度の民間ネット調査の結果については、調査実施事業者、調査対象集団が同一ではないため、参考値としての掲載となります。

各回答の割合について

各回答の割合（％）は小数点第 2 位以下を四捨五入しています。このため、各回答の割合の合計が 100％にならない場合があります。

また、回答者数の合計の割合についても同様に四捨五入していますので、各回答者数の割合の合計と一致しない場合があります。

4 留意事項

本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのよう「市民全体の縮図」ではありません。そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

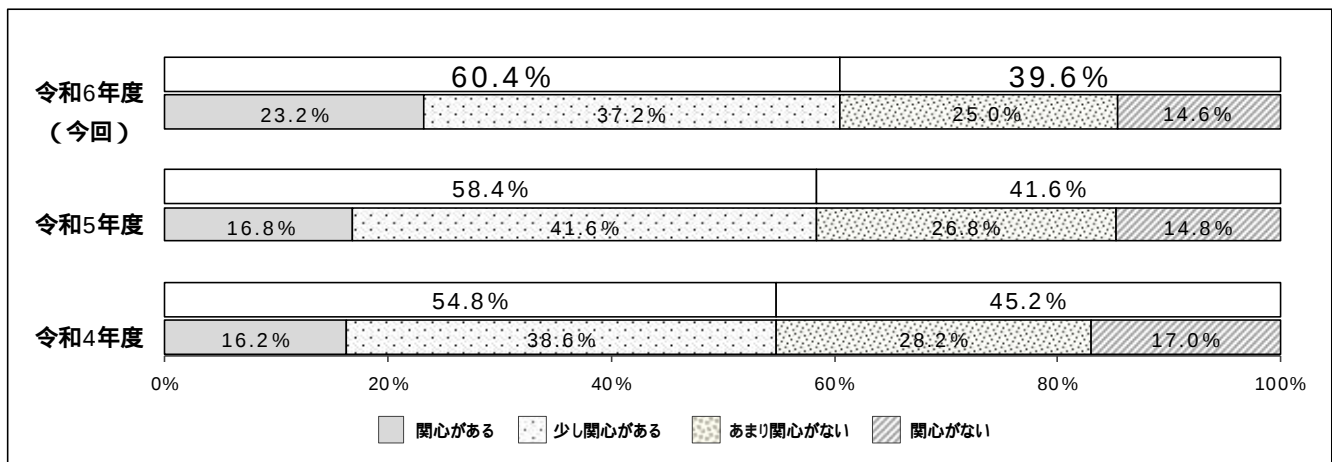
各質問の調査結果

〔人権への関心〕

問1 あなたは、「人権」について関心がありますか。

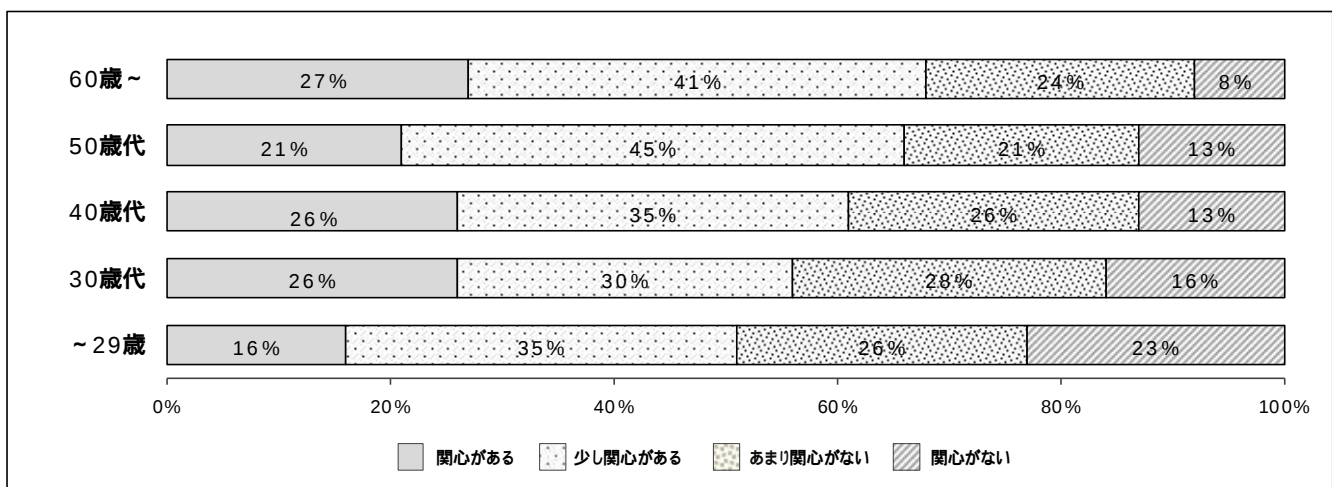
回答の傾向（全体：直近3年）

「関心がある」と「少し関心がある」と答えた人の合計の割合は60.4 %である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

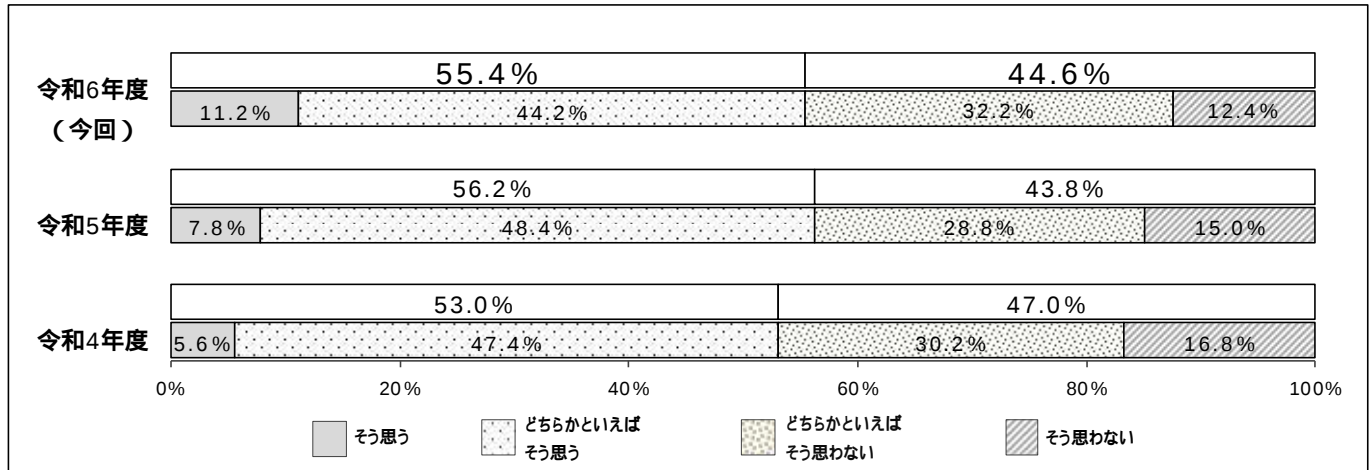
「関心がある」と「少し関心がある」と答えた人の合計の割合は、60歳以上が68%で最も高く、29歳以下が51%で最も低い。



問2 あなたは、「大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。

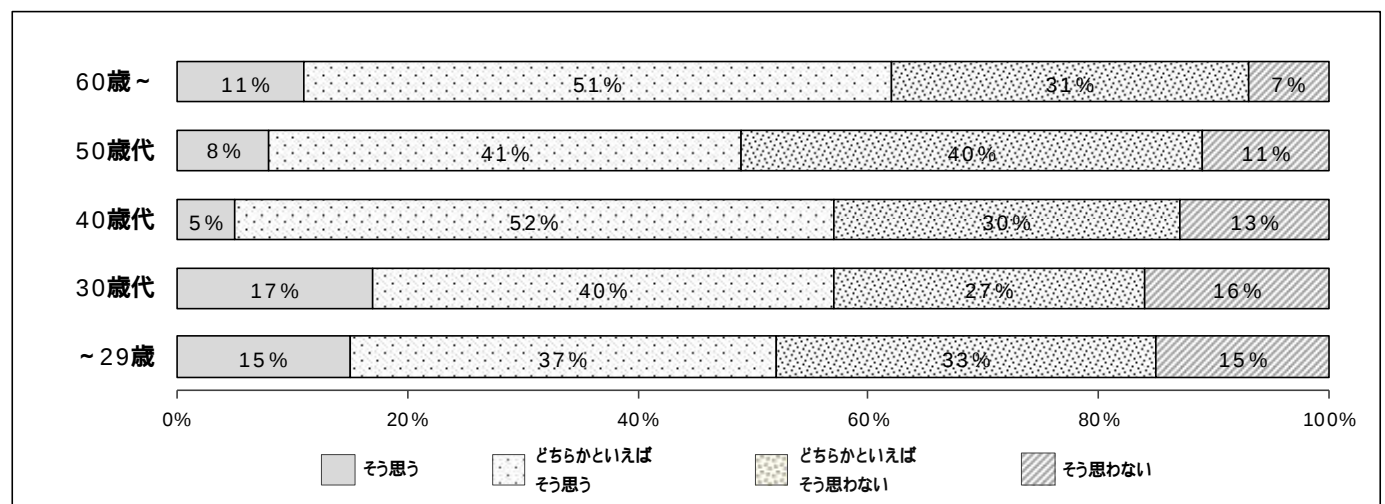
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は55.4%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、60歳以上が62%で最も高く、50歳代が49%で最も低い。

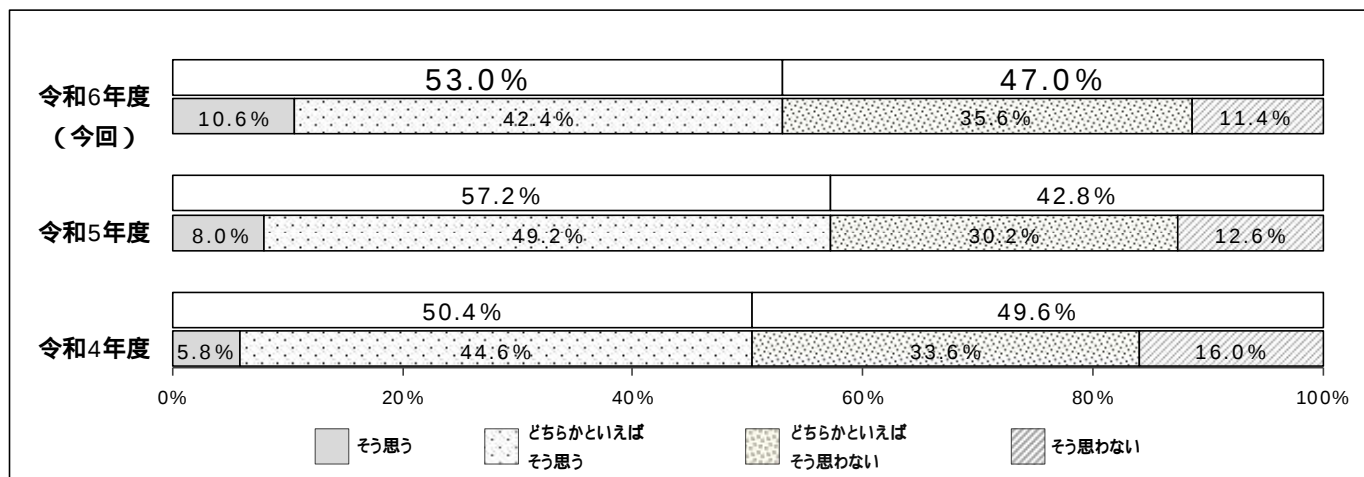


(女性)

問3 あなたは、「大阪市は男性・女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである」と思いますか。

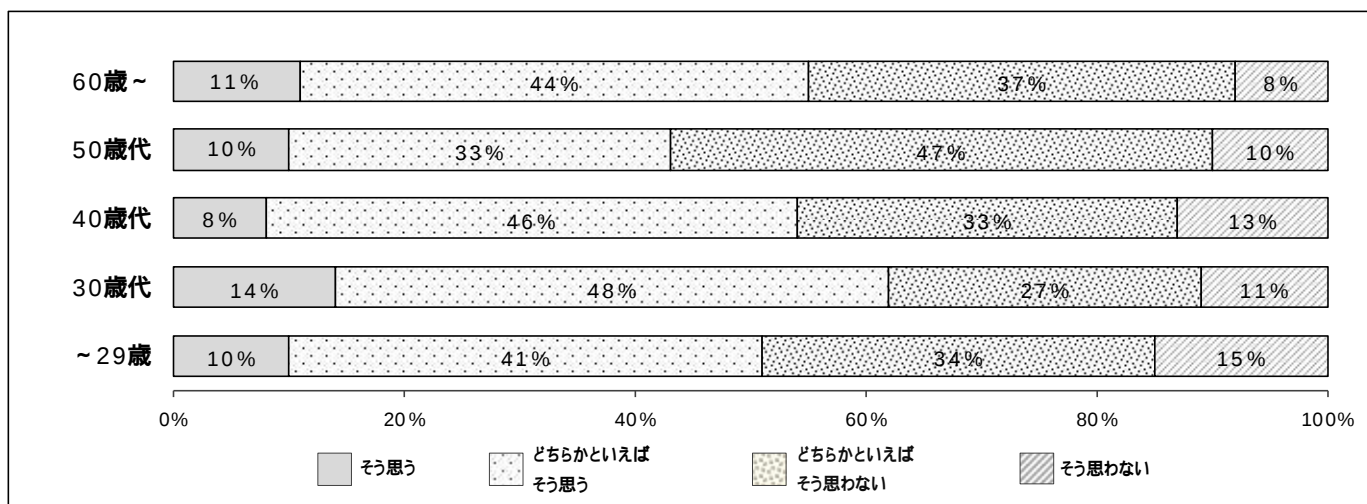
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は53%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30歳代が62%で最も高く、50歳代が43%で最も低い。

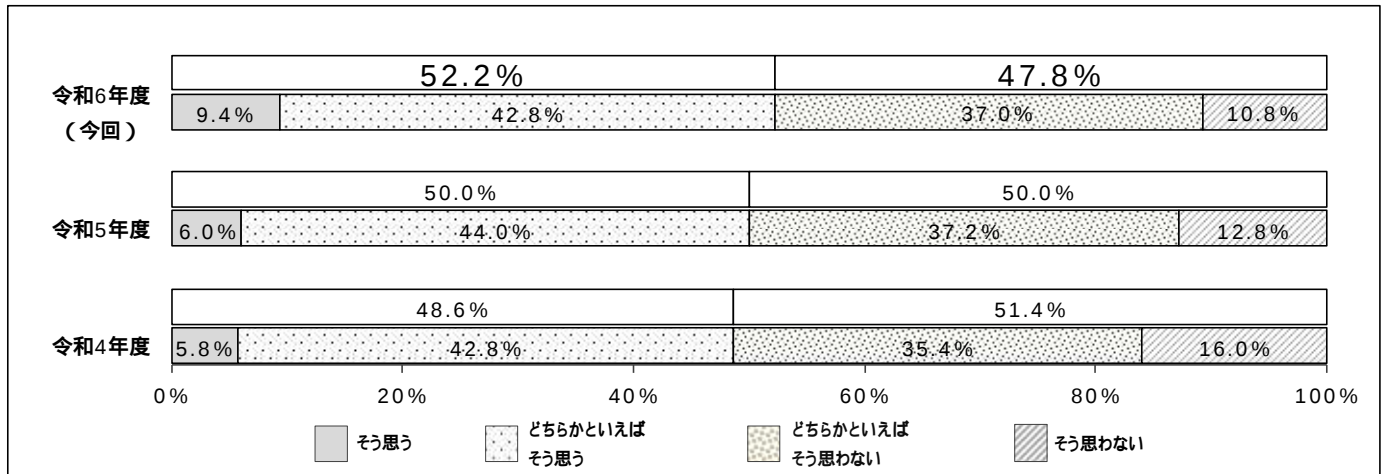


(女性)

問4 あなたは、「大阪市は配偶者・パートナー等からの暴力（DV。身体的暴力だけでなく、精神的・経済的なもの等を含む）の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである」と思いますか。

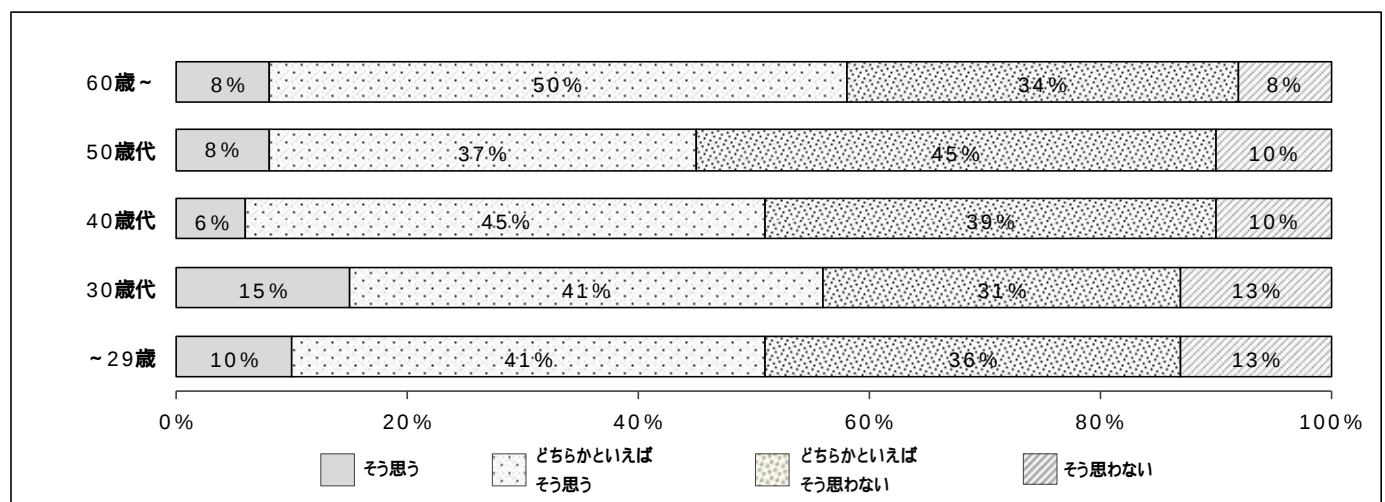
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は52.2%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、60歳以上が58%で最も高く、50歳代が45%で最も低い。

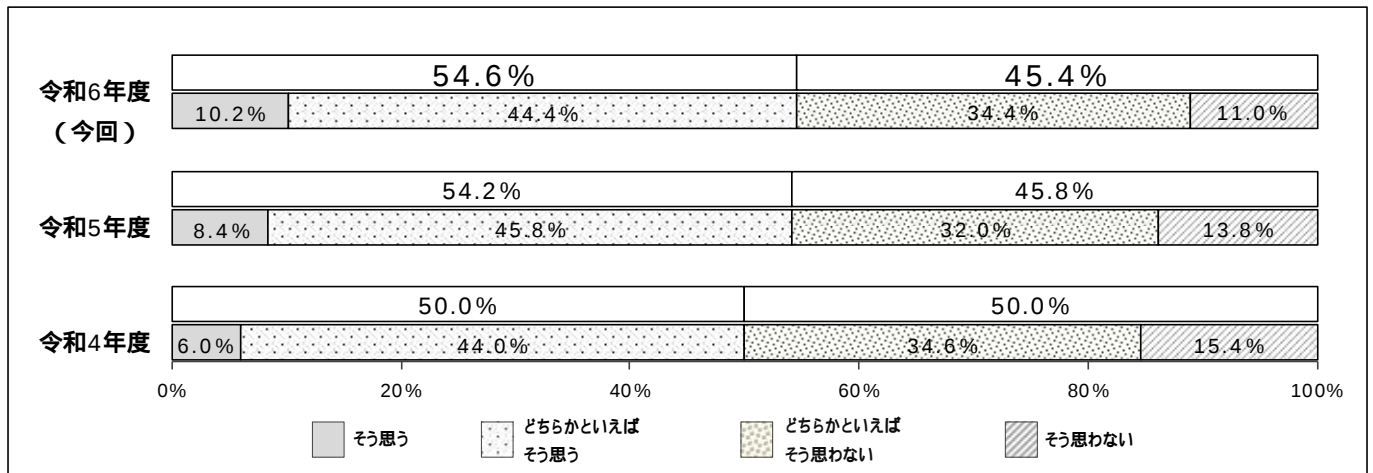


(こども)

問5 あなたは、「大阪市はこどもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである」と思いますか。

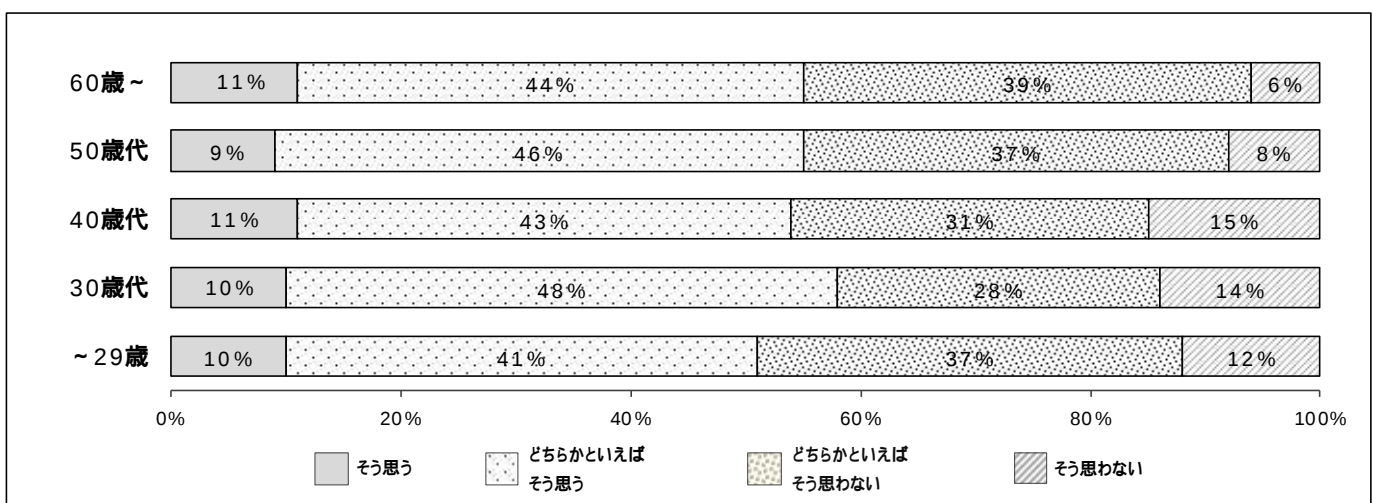
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は54.6%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30歳代が58%で最も高く、29歳以下が51%で最も低い。

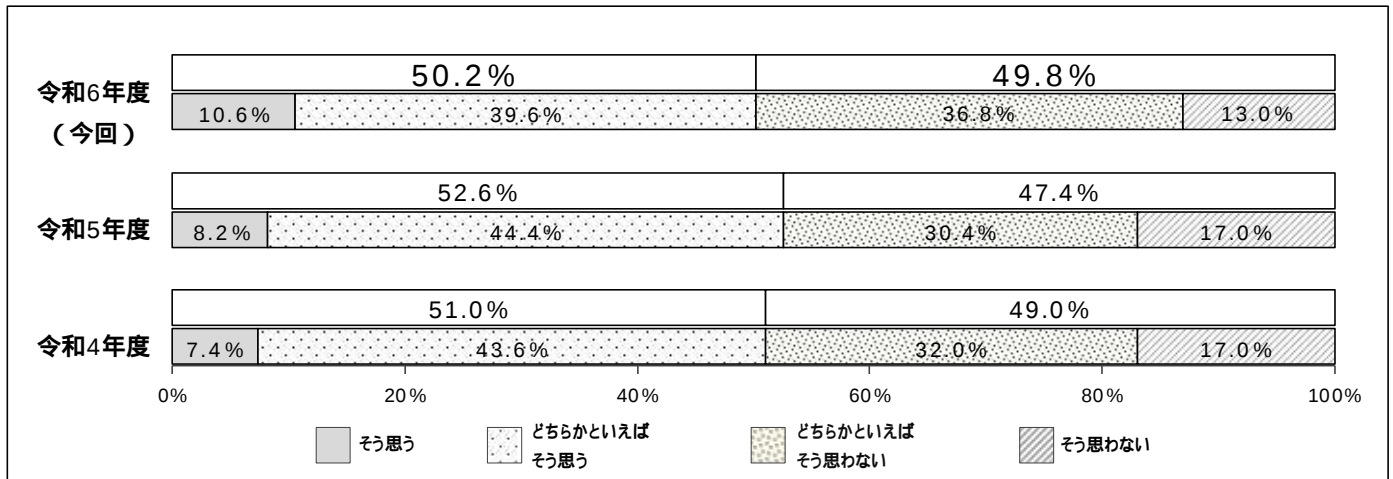


(こども)

問6 あなたは、「大阪市は子育て家庭が安心してこどもを産み育てられるまちである」と思いますか。

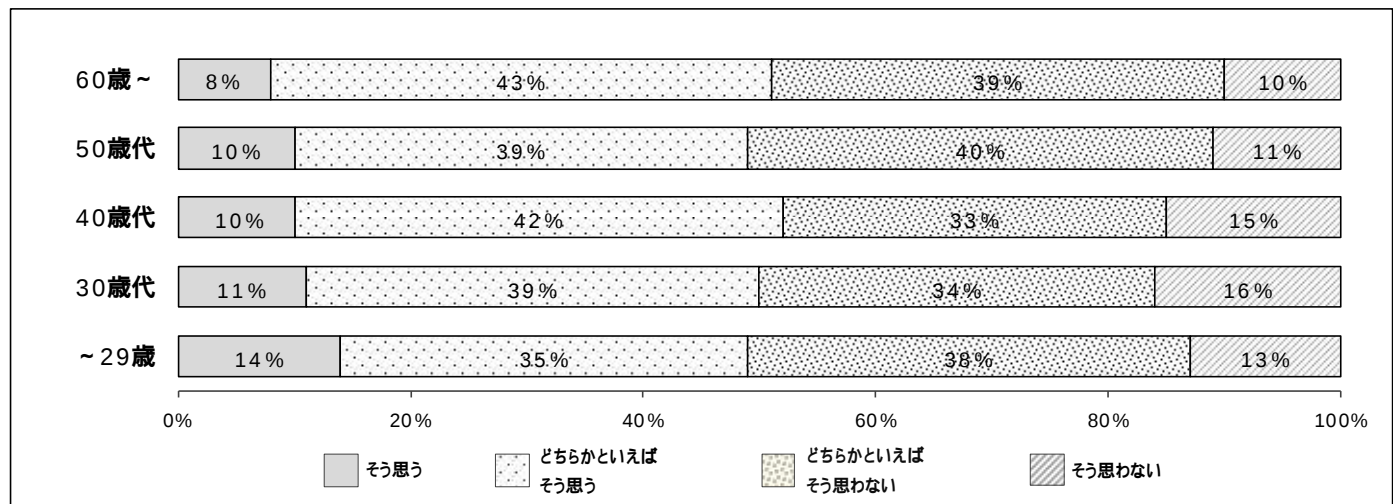
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は50.2%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、40歳代が52%で最も高く、29歳以下と50歳代が49%で低くなっている。

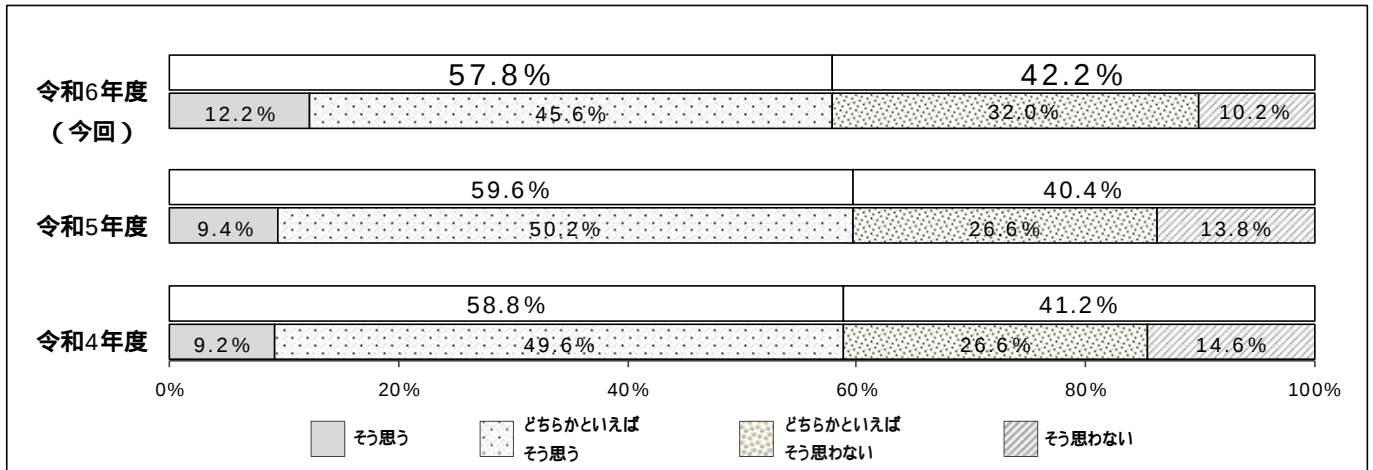


(高齢者)

問7 あなたは、「大阪市は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである」と思いますか。

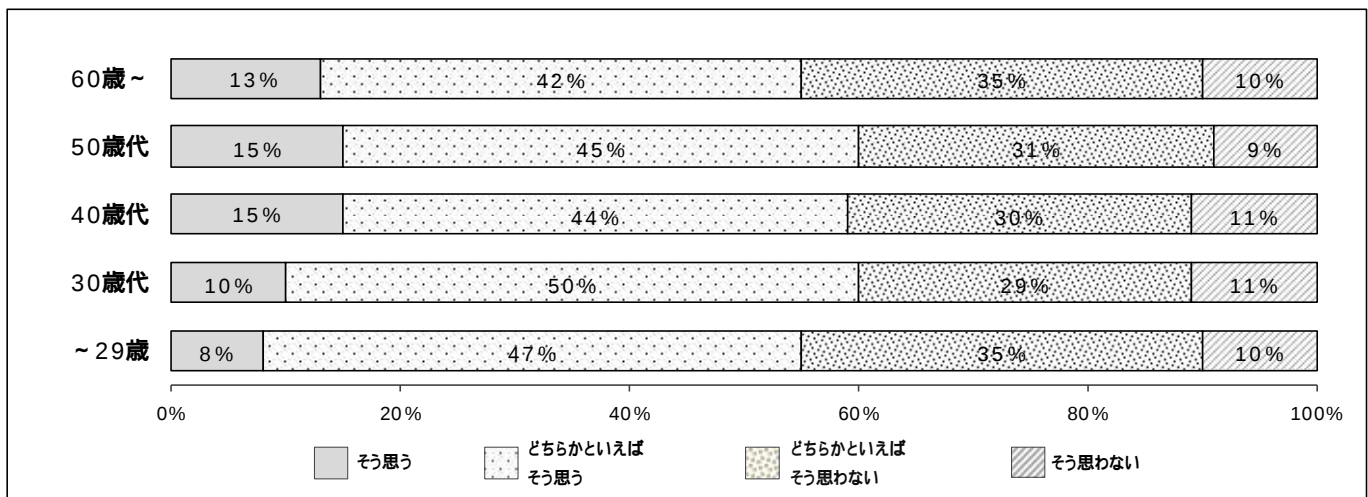
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は57.8%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

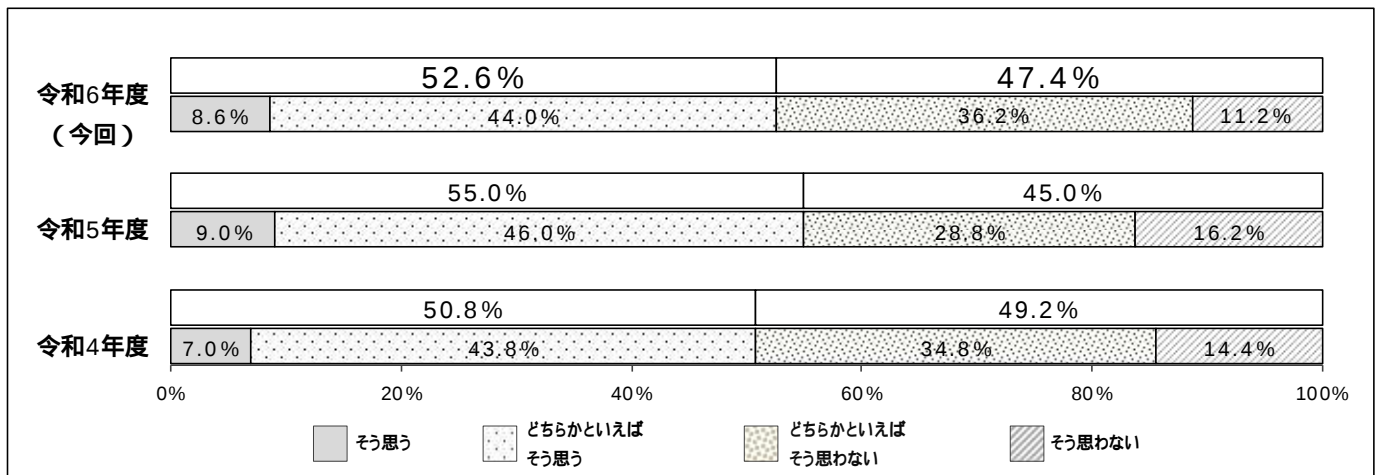
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30歳代と50歳代が60%で高くなっており、29歳以下と60歳以上が55%で低くなっている。



問 8 あなたは、「大阪市は高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである」と思いますか。

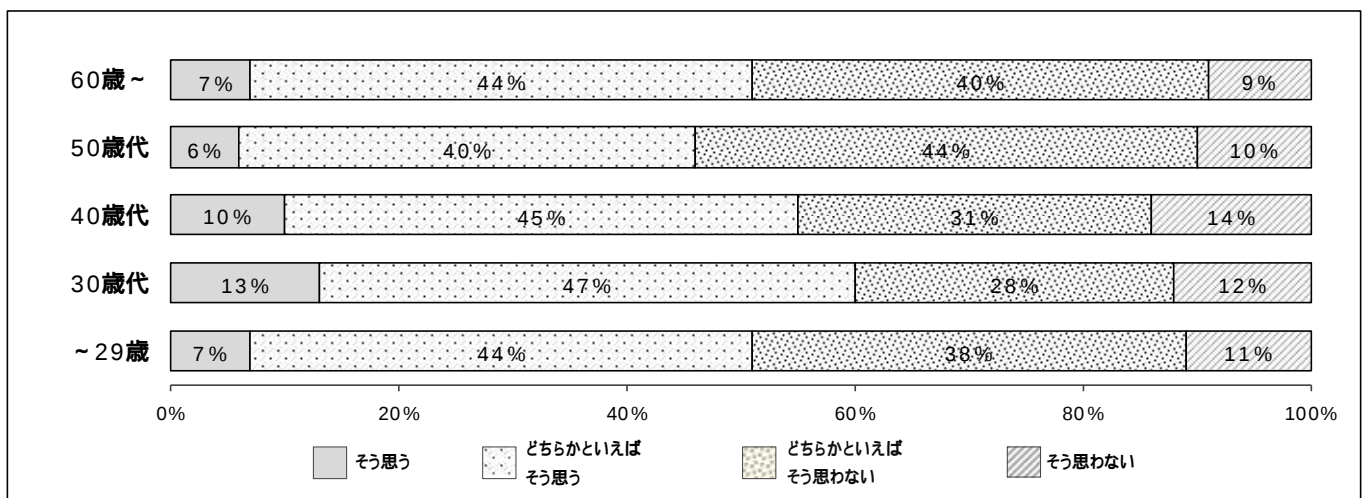
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 52.6%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

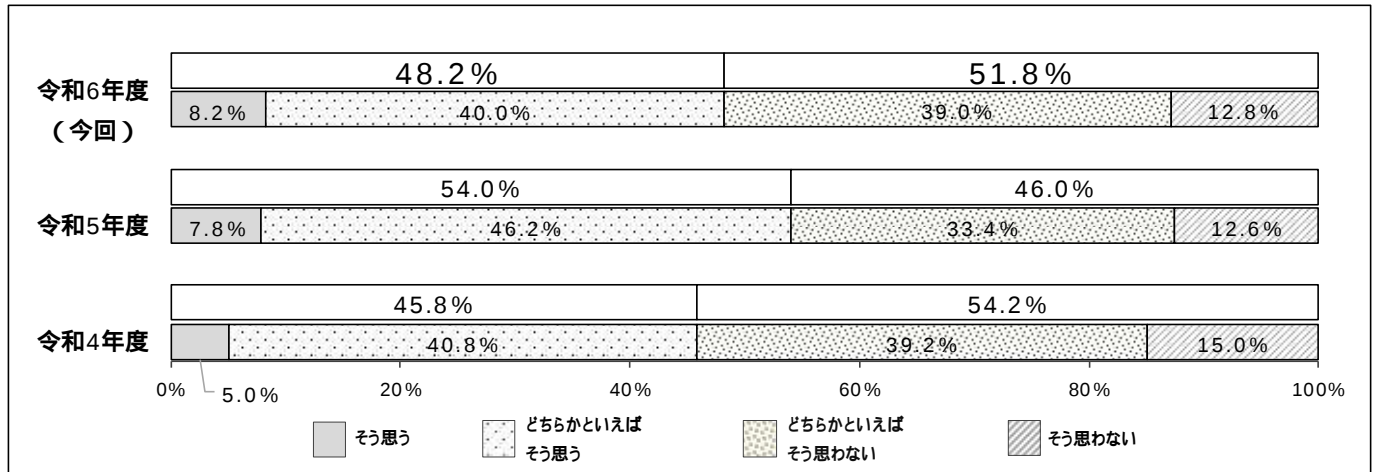
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 60%で最も高く、50 歳代が 46%で最も低い。



問 9 あなたは、「大阪市は障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである」と思いますか。

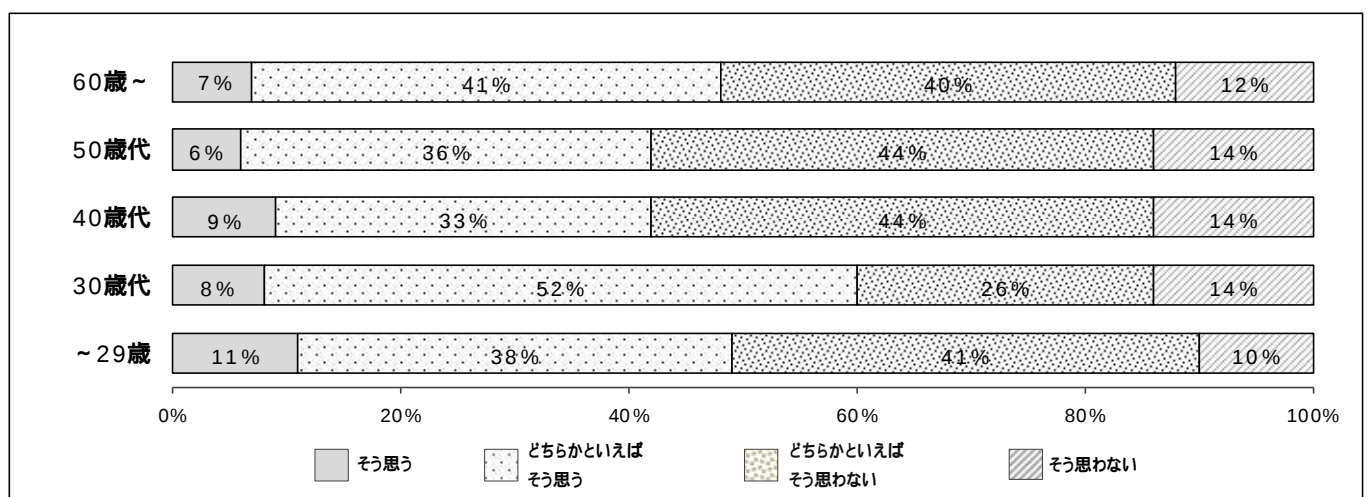
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 48.2%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

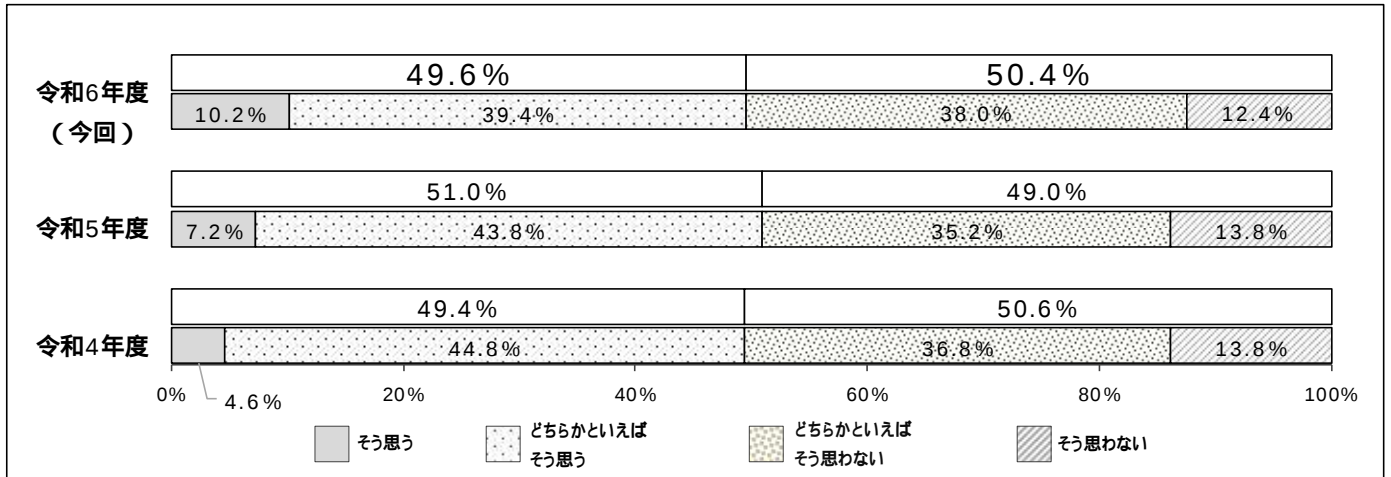
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 60%で最も高く、40 歳代と 50 歳代が 42%で低くなっている。



問 1 0 あなたは、「大阪市は障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである」と思いますか。

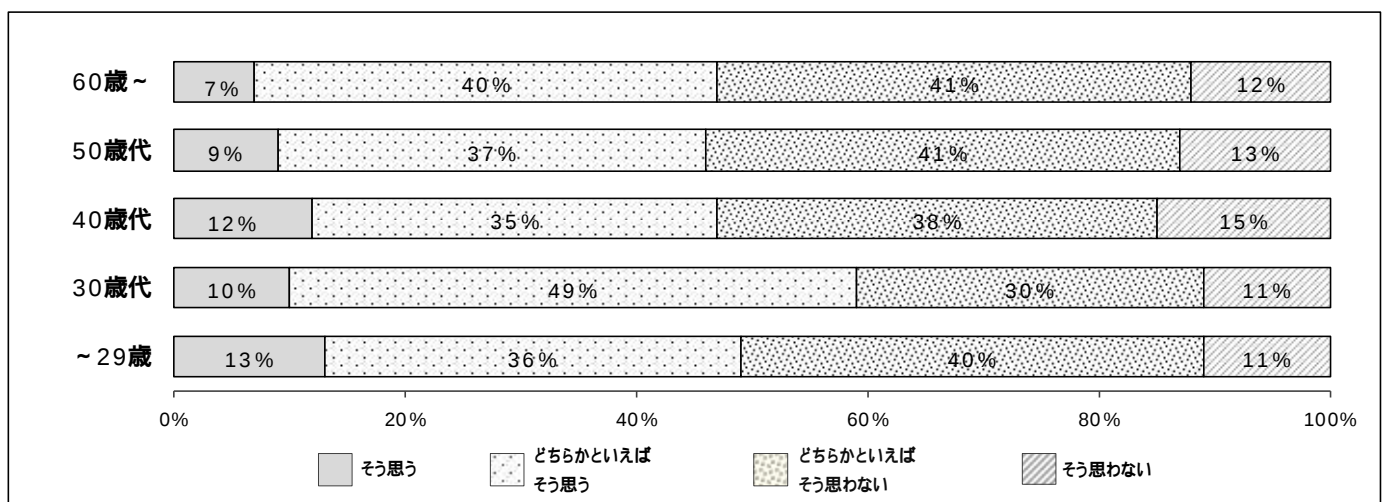
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 49.6%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30歳代が 59%で最も高く、50歳代が 46%で最も低い。



「同和問題（部落差別）」

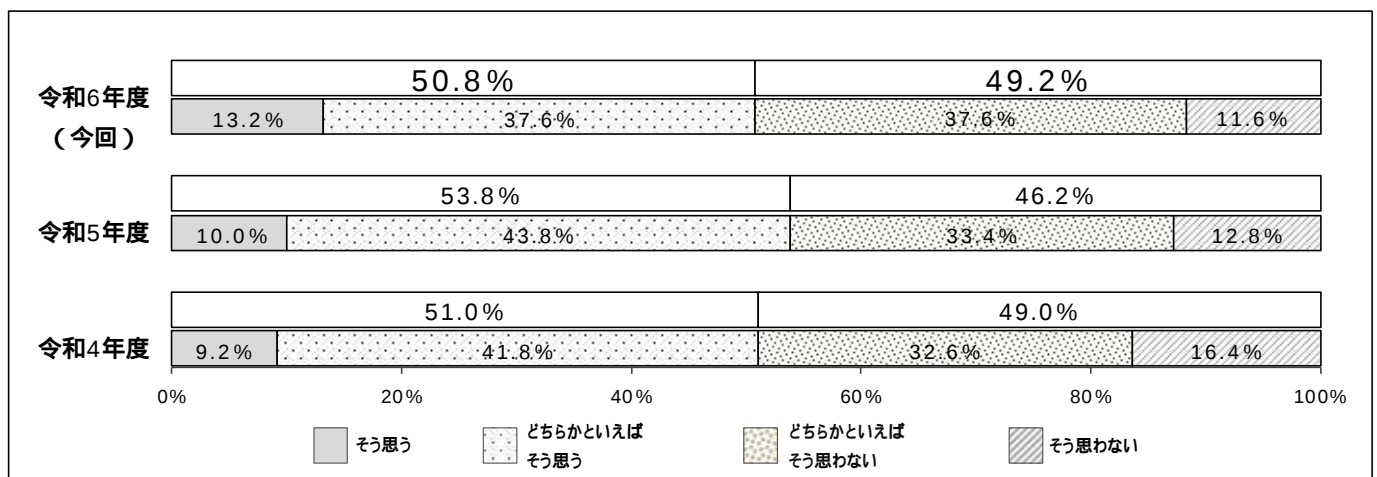
問 1 1 あなたは、「大阪市は同和地区（ ）であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである」と思いますか。

同和地区

「同和地区」とは、「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（地対財特法）に基づき、同和問題（部落差別）の解決に向け実施された地域改善対策の対象地域として指定された地域ですが、平成 14（2002）年 3 月に「地対財特法」は失効し、事業はすでに終了しています。

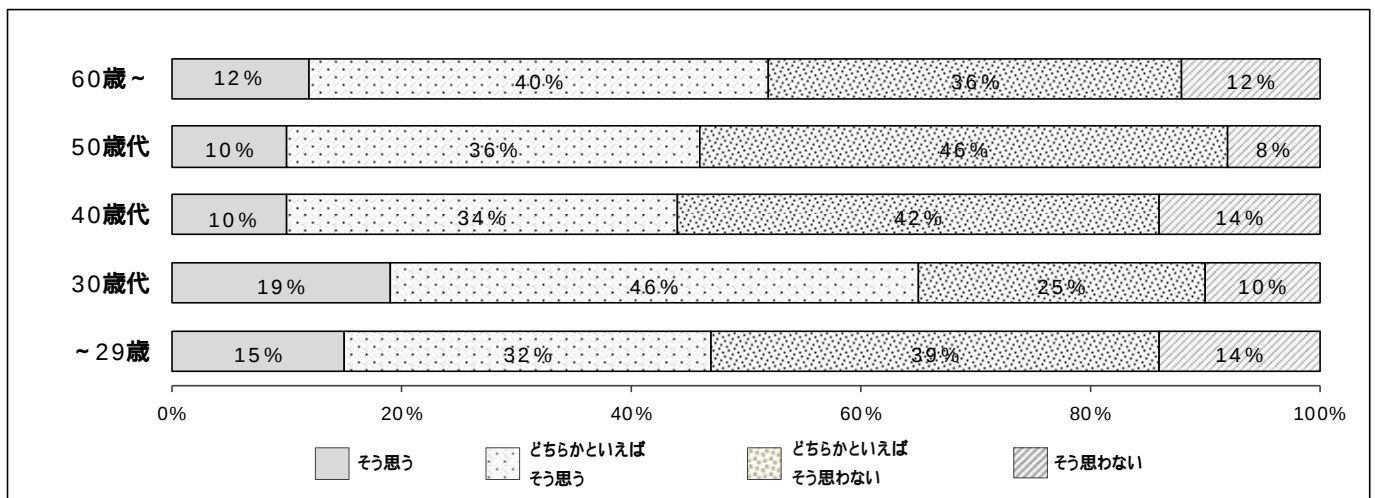
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 50.8%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 65%で最も高く、40 歳代が 44%で最も低い。



(外国人)

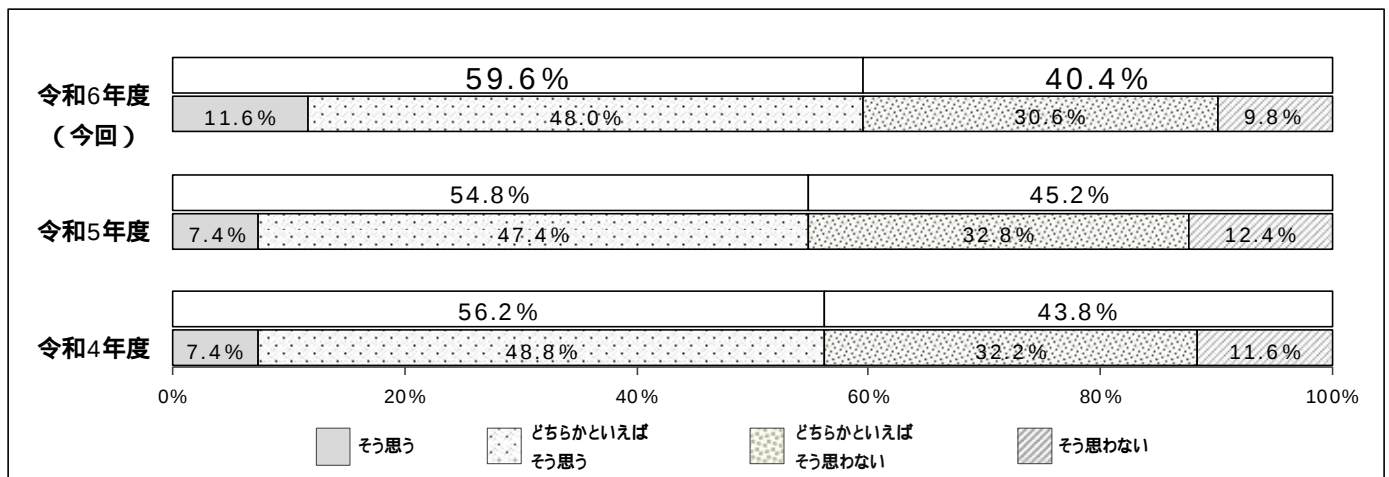
問 1 2 大阪市では、「外国人のための相談窓口」の設置をはじめ、三者通話による通訳対応や、多言語・やさしい日本語での情報発信など、誰もが地域で安全に安心して暮らすことができるようにさまざまな取り組みを行っています。

あなたは、「大阪市は外国人住民が、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである」と思いますか。

令和 4 年度の質問文：あなたは、「大阪市は外国人住民が地域社会の一員として、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである」と思いますか。

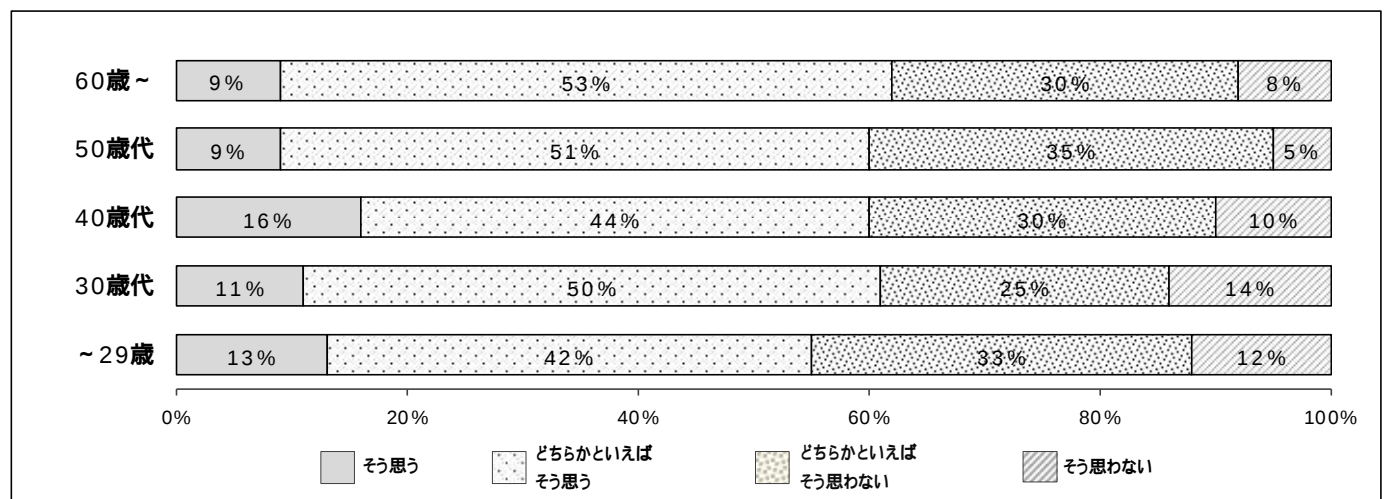
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 59.6%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

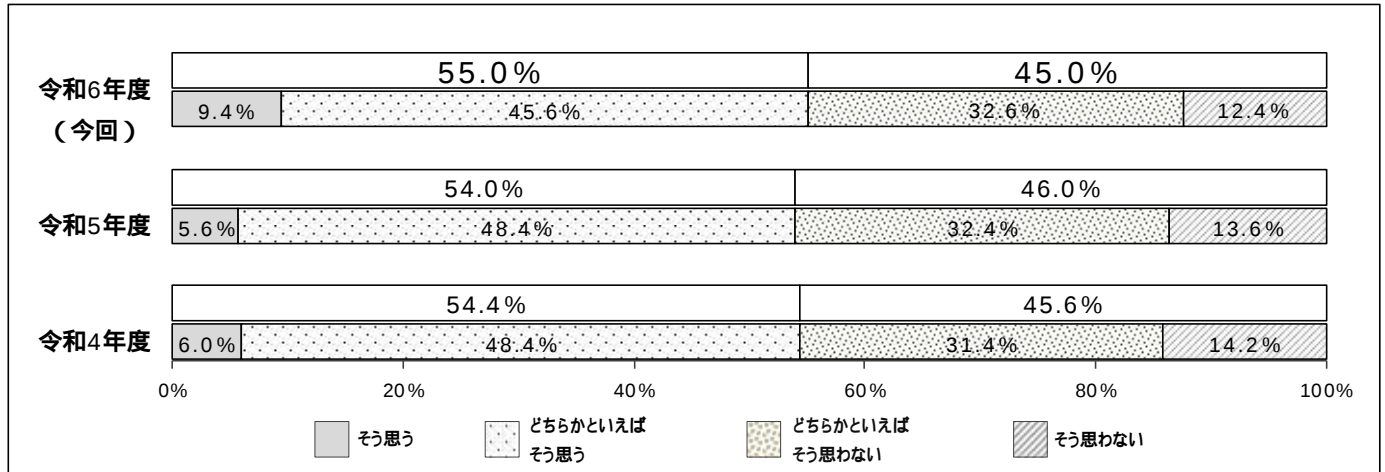
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、60 歳以上が 62%で最も高く、29 歳以下が 55%で最も低い。



**問 1 3 あなたは、「大阪市は事業者の持つ市民の個人情報が保護され、適切に取り扱われているま
ちである」と思いますか。**

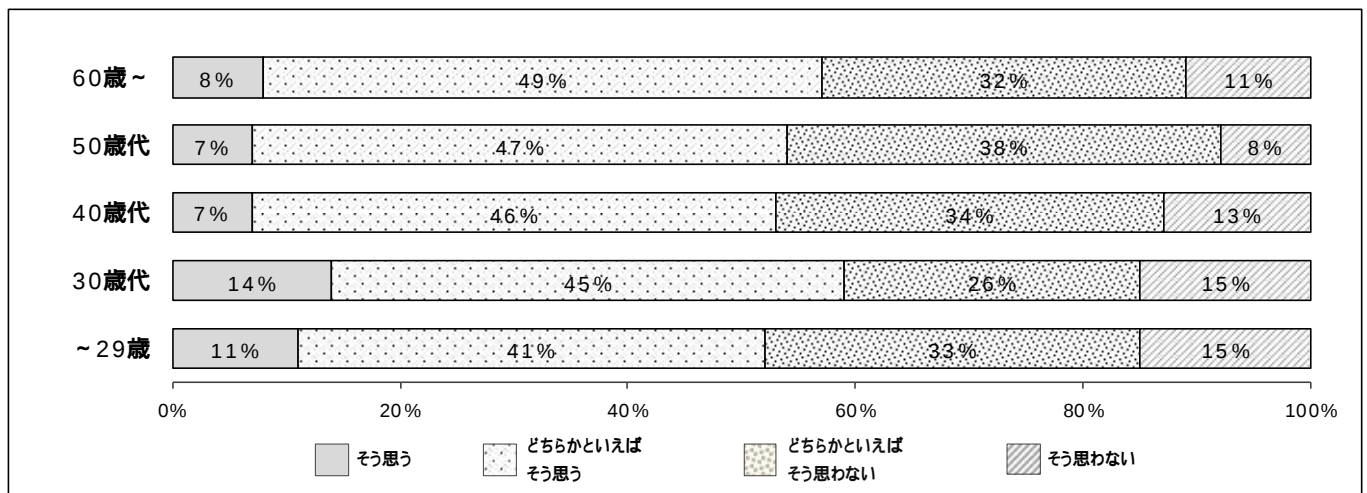
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 55 % である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 59 % で最も高く、29 歳以下が 52 % で最も低い。

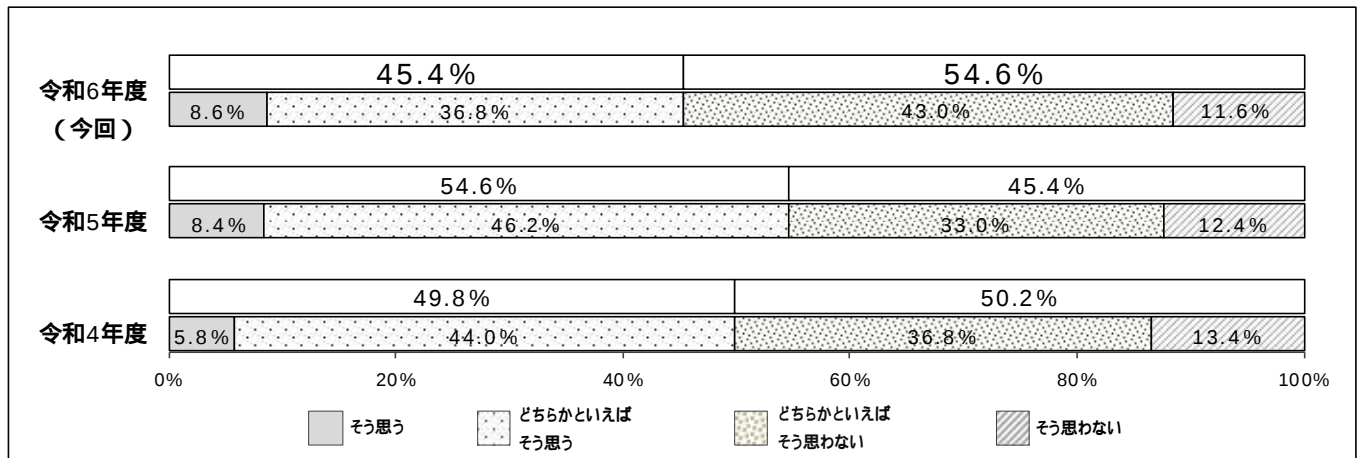


問 1 4 大阪市では犯罪被害者等への支援として、総合相談窓口の設置や見舞金の支給、ホームヘルプサービスや配食サービス等の日常生活支援等を実施しています。

あなたは、「大阪市は、犯罪被害者等への支援を推進している」と思いますか。

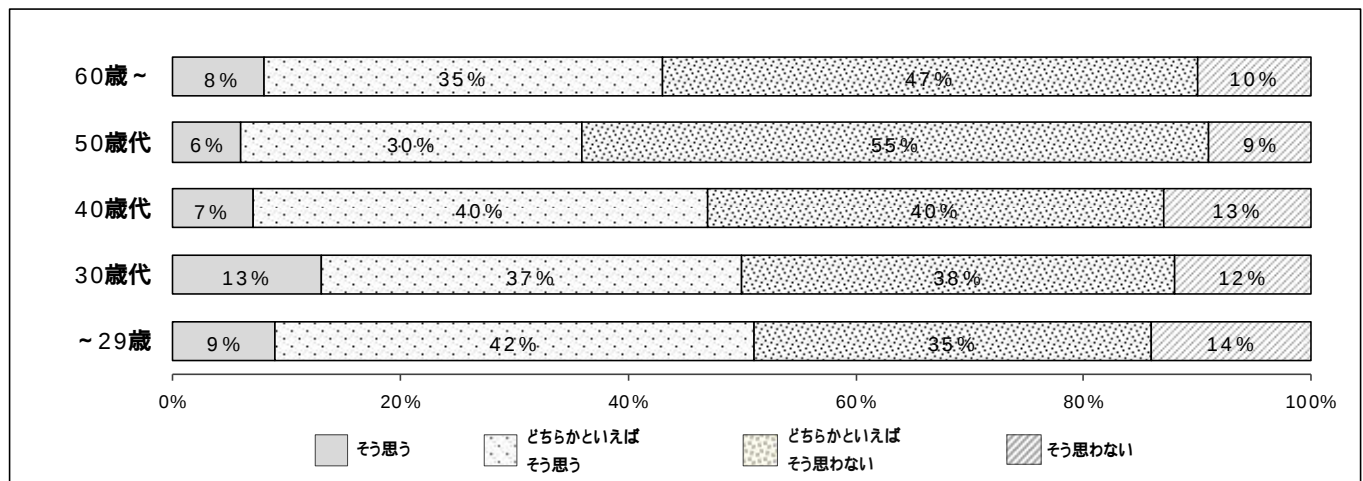
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 45.4%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、29 歳以下が 51%で最も高く、50 歳代が 36%で最も低い。

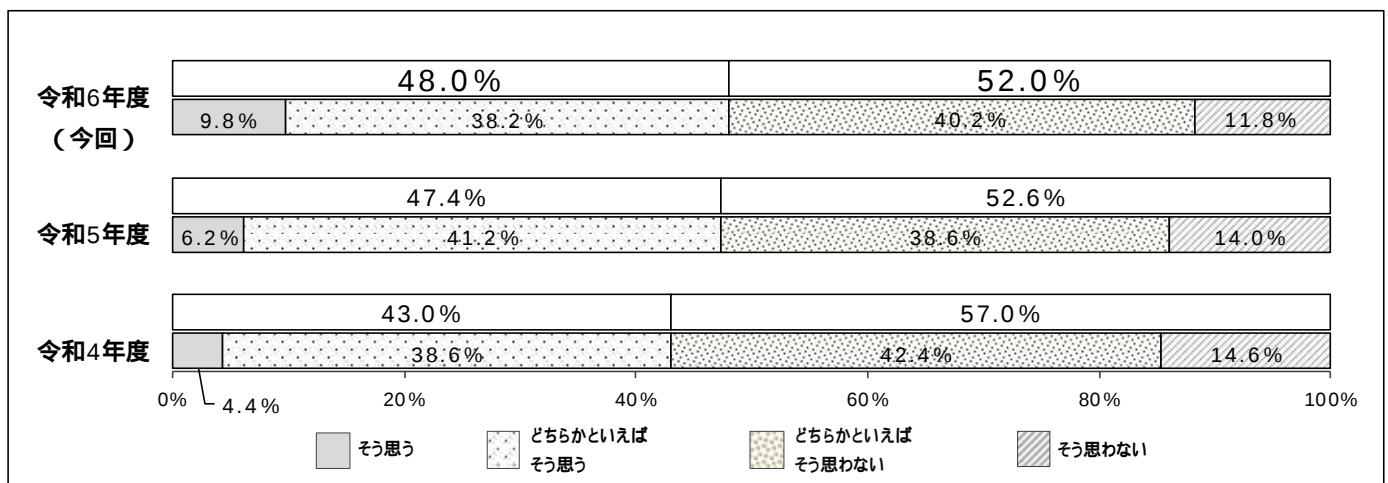


問 15 大阪市では、講演会やセミナー、パンフレット等を通じて、犯罪被害者等の置かれている状況の理解促進や支援の必要性などの周知・広報及び啓発に努めています。こうした取組みにより、あなたは、「地域の人々の犯罪被害者等への理解が深まっている」と思いますか。

令和4年度の質問文： あなたは、「大阪市は犯罪被害者やその家族または遺族が再び平穏に暮らせるようになるために、地域の人々の理解や協力が得られるまちである」と思いますか。

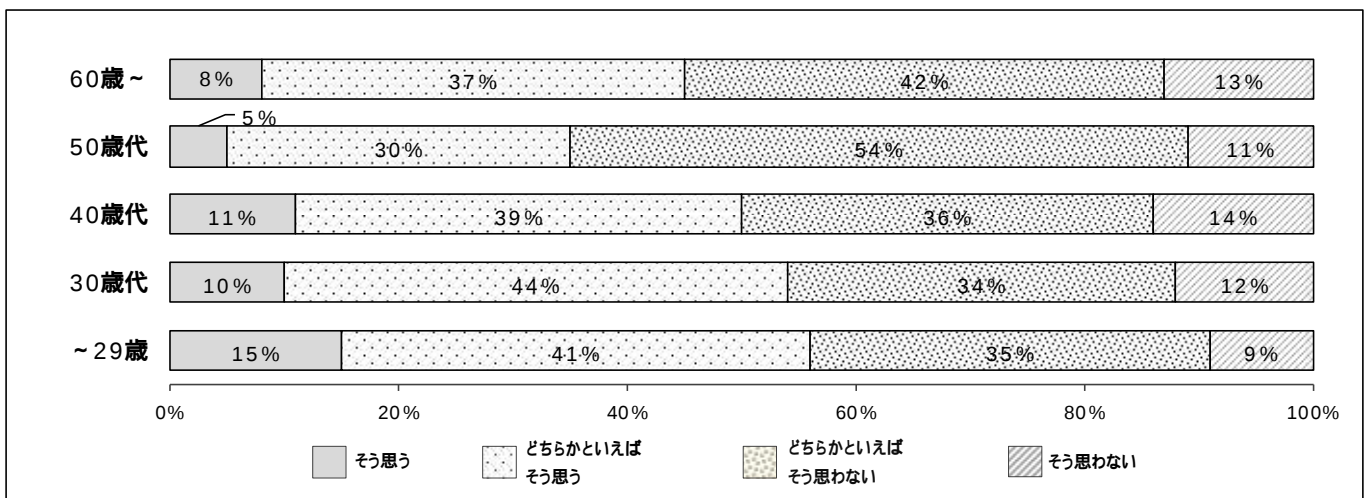
回答の傾向（全体：直近3年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は48%である。



回答の傾向（年代別：令和6年度）

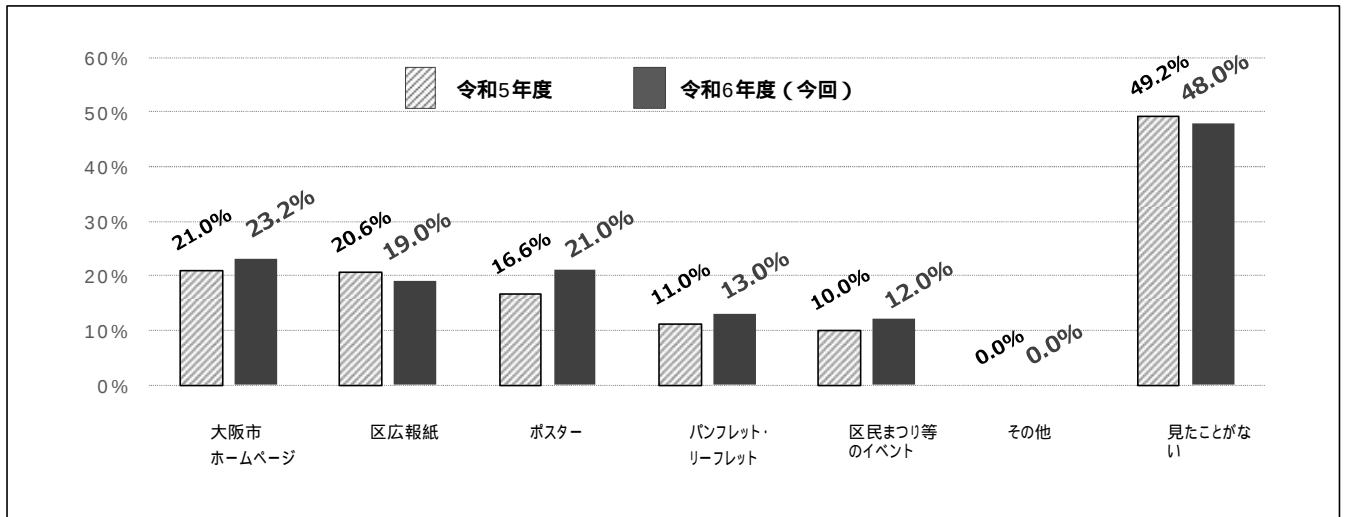
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、29歳以下が56%で最も高く、50歳代が35%で最も低い。



問 1 6 あなたは、大阪市の犯罪被害者等支援に関して、どのような広報・啓発を見かけたことがありますか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。

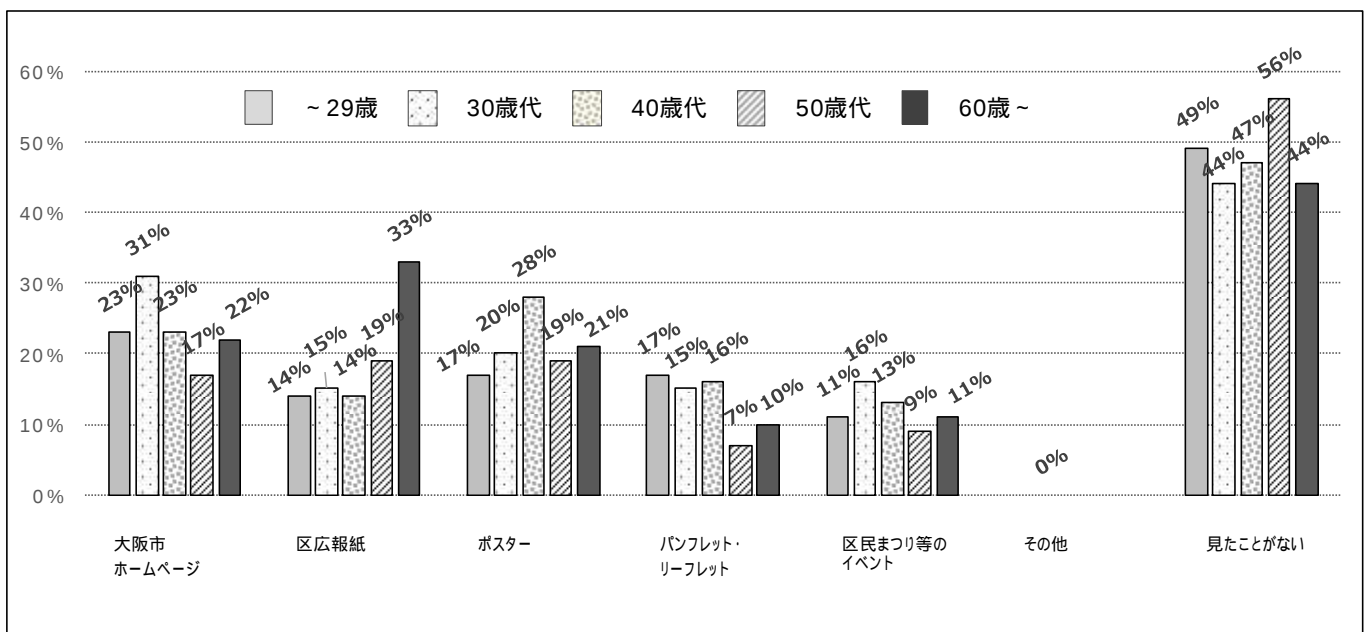
回答の傾向（全体：直近 2 年、令和 5 年度からの質問）

見かけたことのある人の中では、「大阪市ホームページ」が 23.2%、次いで「ポスター」が 21.0%、「区広報紙」が 19.0% となっている。「見たことがない」は 48%となっている。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

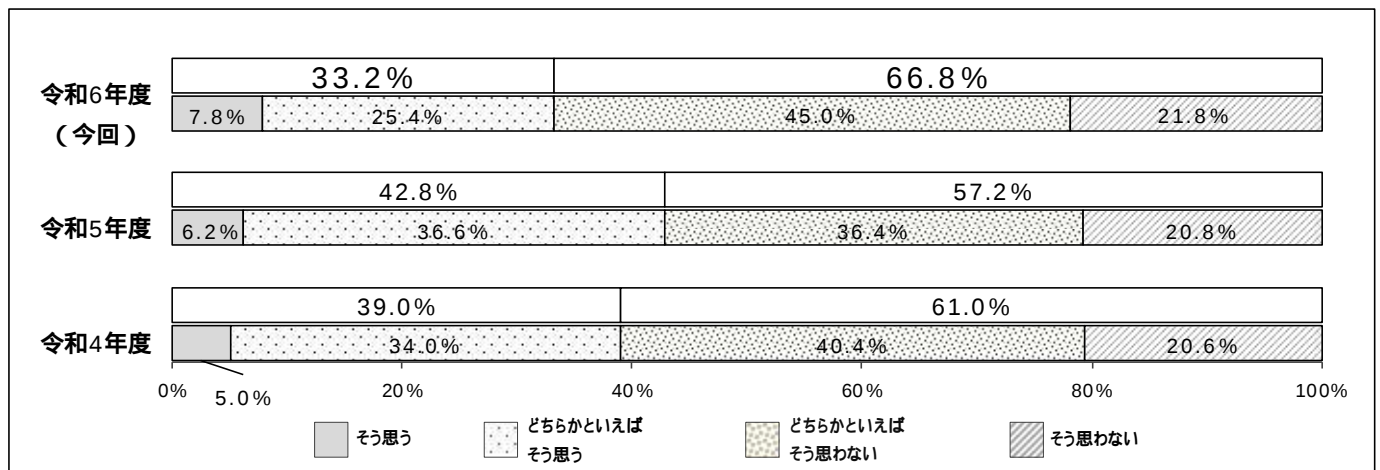
見かけたことのある人の中では、29 歳以下と 30 歳代は「大阪市ホームページ」、40 歳代は「ポスター」が最も高い。50 歳代は「区広報紙」と「ポスター」が高く、60 歳以上は「区広報紙」が最も高い。



問 1 7 あなたは、「大阪市はホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである」と思いますか。

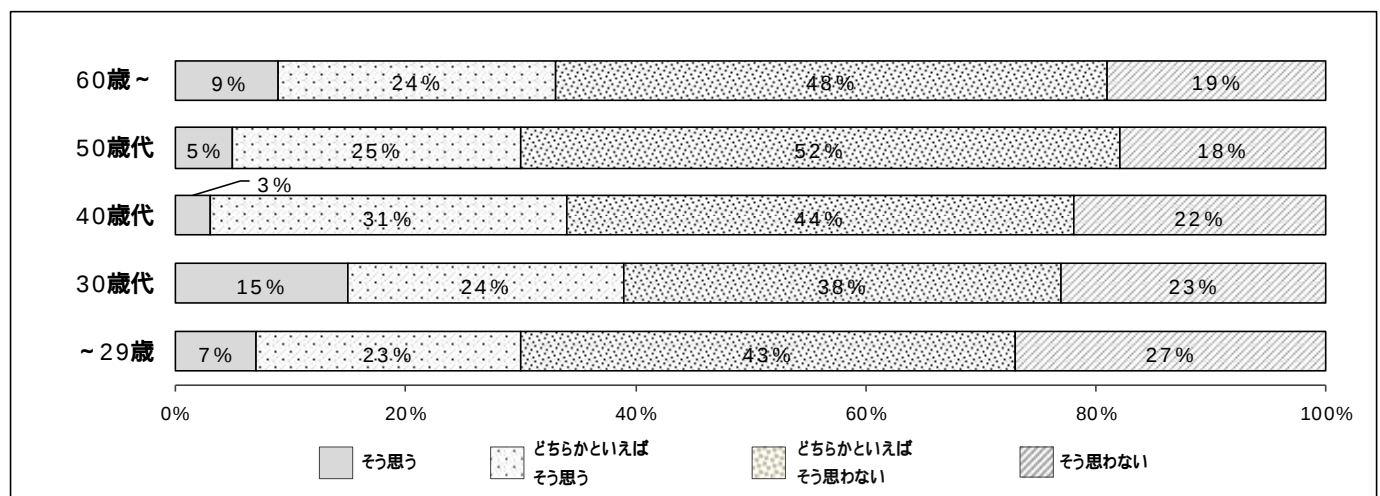
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 33.2%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

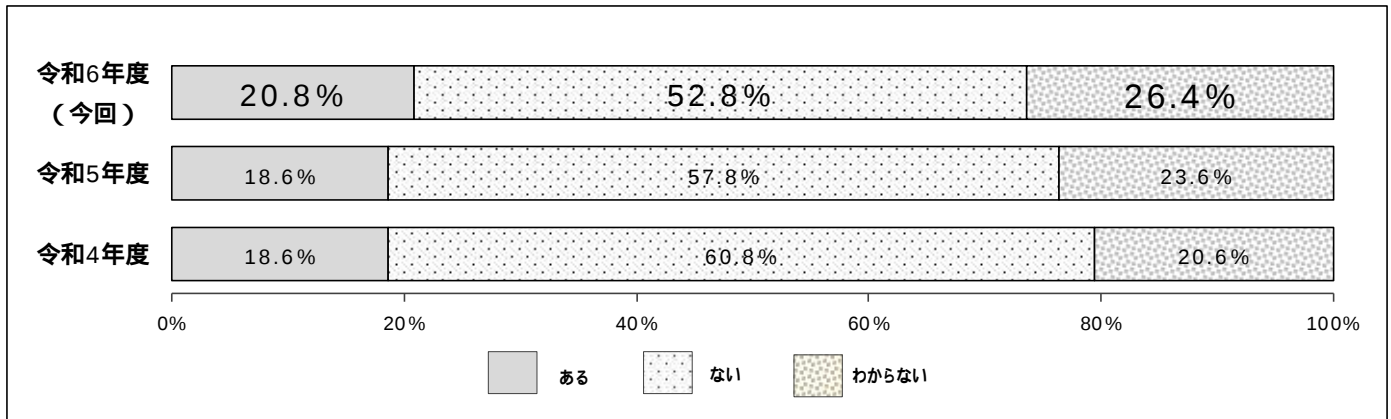
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 39%で最も高く、29 歳以下と 50 歳代が 30%で低くなっている。



問 1 8 あなたは、ここ 1 ～ 2 年の間で、「LGBT」「性的少数者」に関する差別的な言動を受けたり、見聞きしたりしたことはありますか。

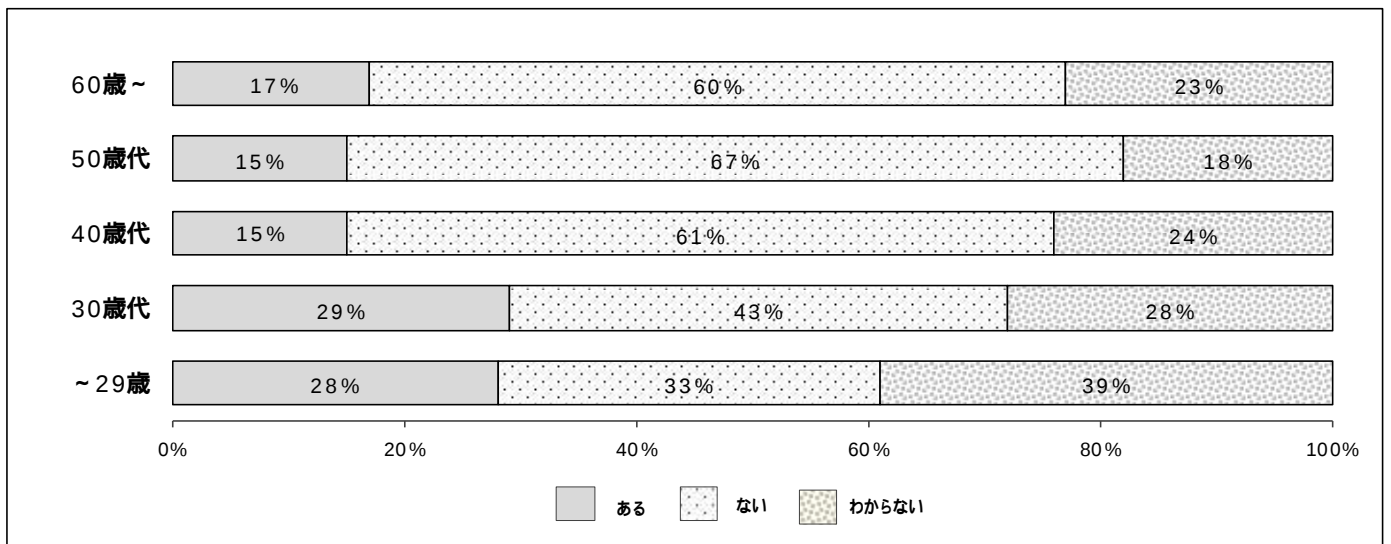
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「ある」と答えた人の割合は 20.8%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

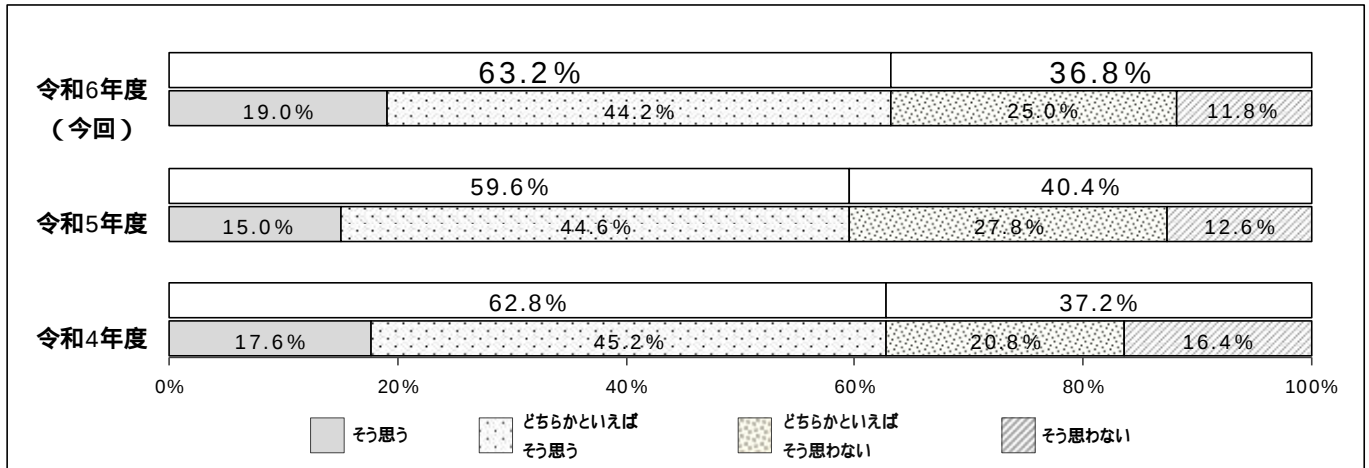
「ある」と答えた人の割合は、30 歳代が 29%で最も高く、40 歳代と 50 歳代が 15%で低くなっている。



問 19 あなたは、同性愛者やトランスジェンダーの人等、性的少数者が置かれている状況を理解し、自分らしく生きることを支援したいと思いますか。

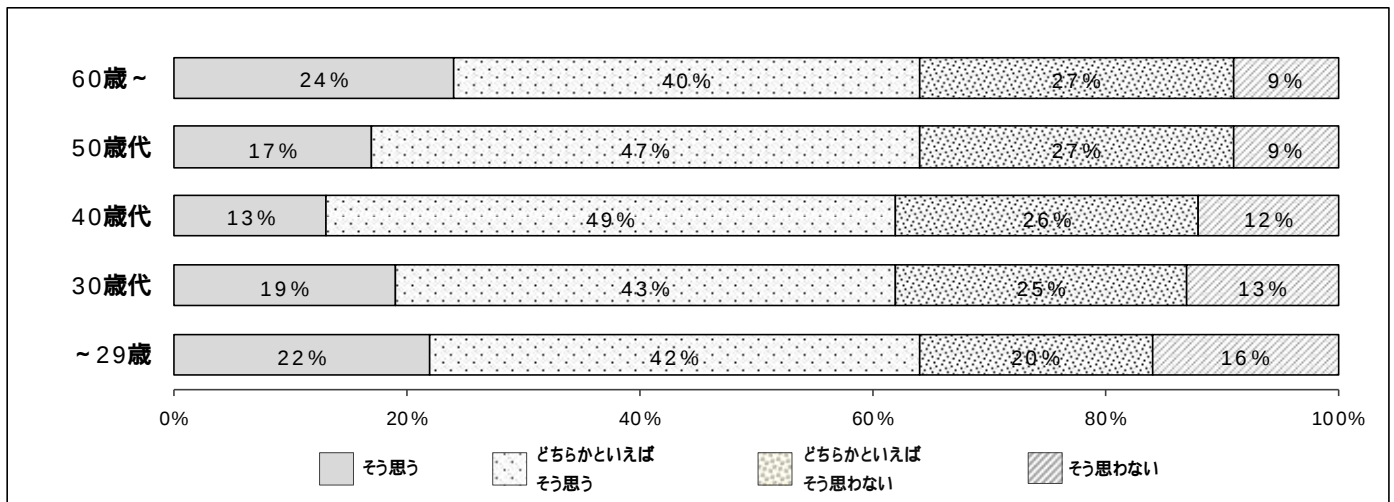
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 63.2%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

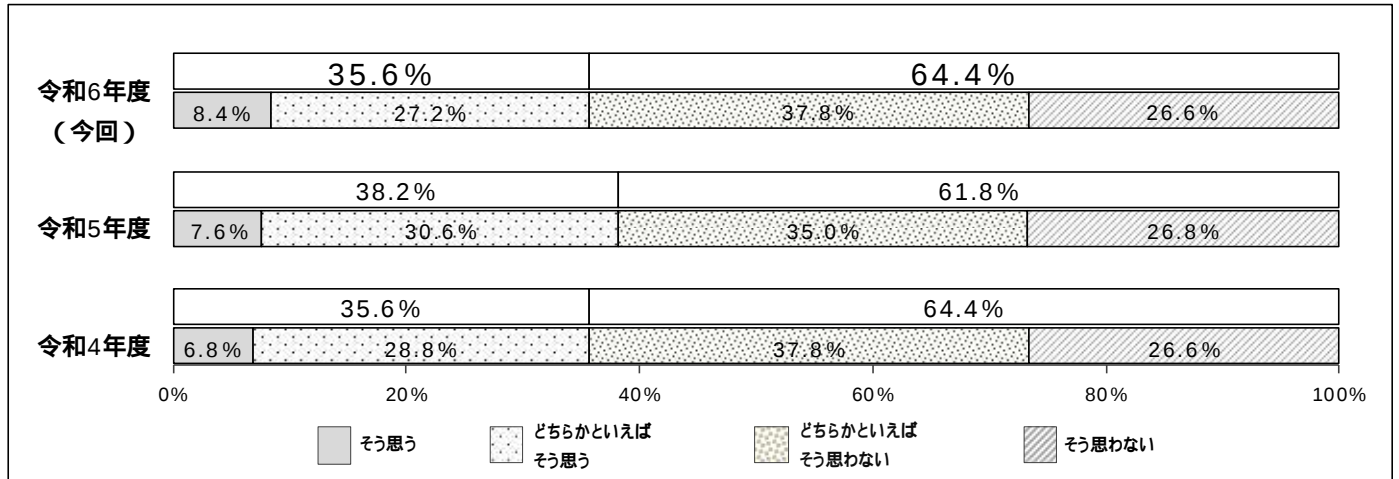
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、29 歳以下、50 歳代、60 歳以上が 64%と高くなっており、30 歳代と 40 歳代が 62%で低くなっている。



問 2 0 あなたは、あなたの周りの人から、自分が同性愛者やトランスジェンダーであることなどを打ち明けられたら抵抗を感じると思いますか。

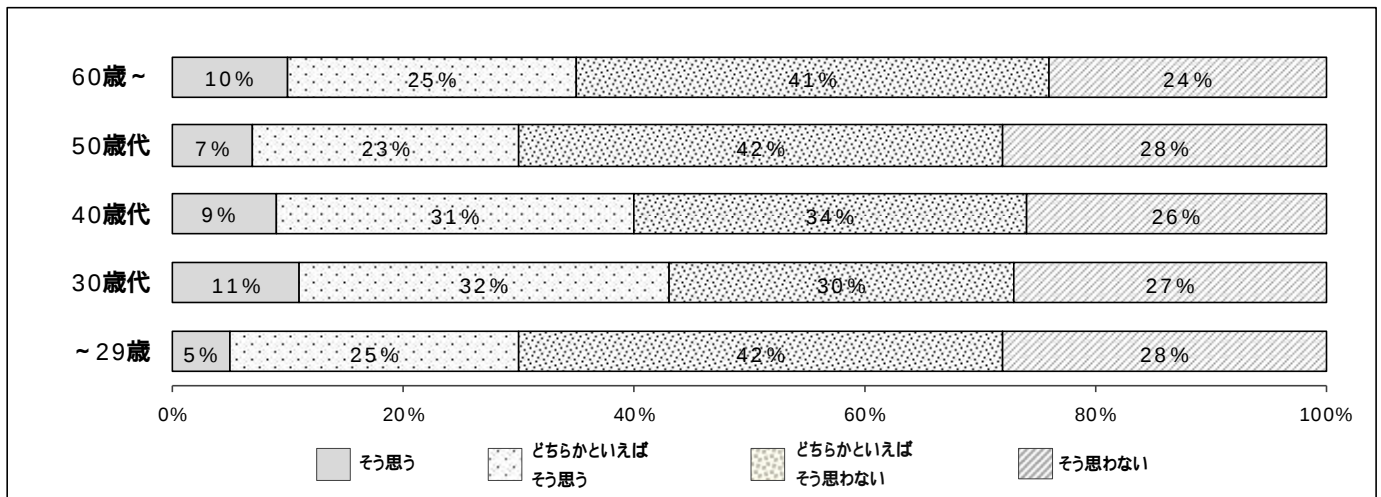
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の合計の割合は 64.4%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の合計の割合は、29 歳以下が 70%で最も高く、30 歳代が 57%で最も低い。

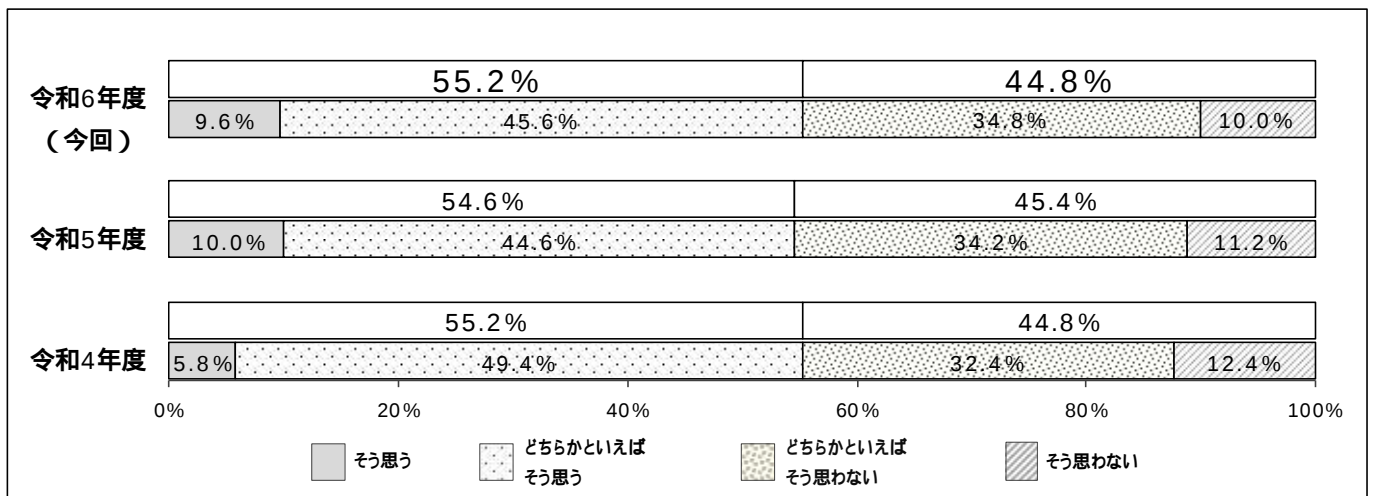


問 2 1 大阪市では、平成 3 0 年 7 月から LGBT などの性的少数者の方を対象とした「大阪市パートナーシップ宣誓証明制度」を実施しています。さらに、令和 4 年 8 月からは、パートナーシップ宣誓者の子ども等を含めた「ファミリーシップ制度」を開始しています。

あなたは、「大阪市は LGBT などの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである」と思いますか。

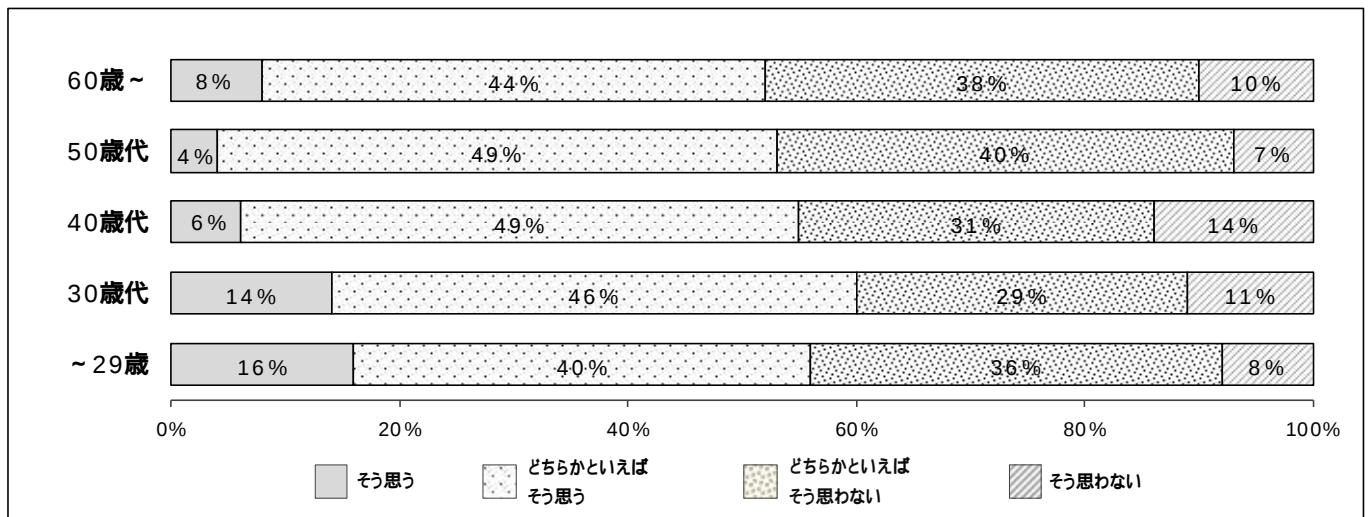
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 55.2%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

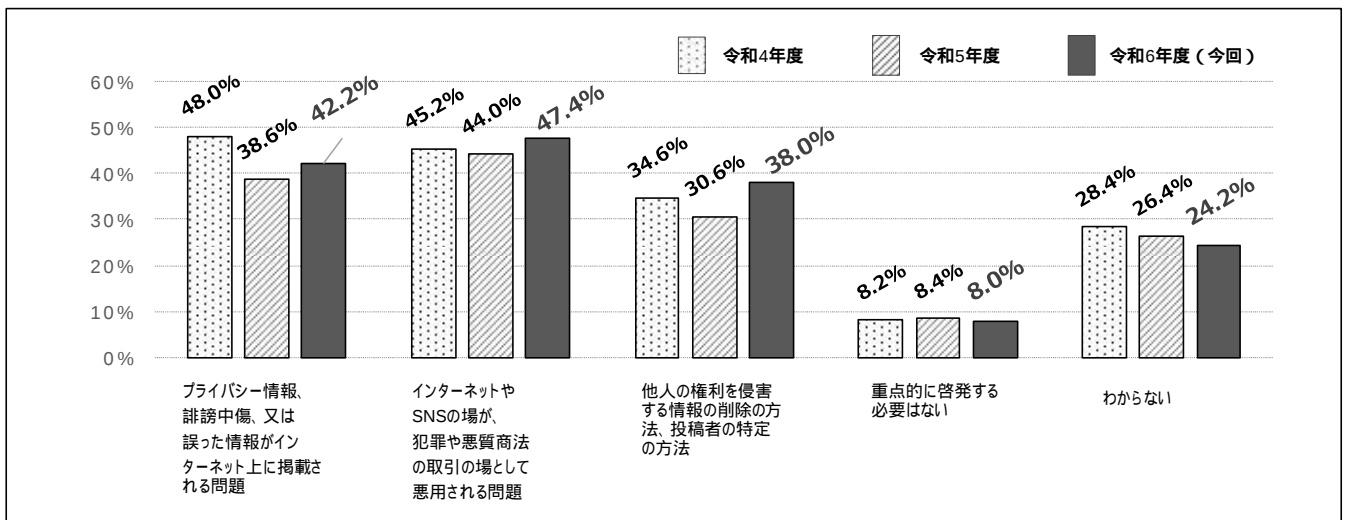
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、30 歳代が 60%で最も高く、60 歳以上が 52%で最も低い。



問 2 2 あなたは、インターネットにおける人権侵害に関することで、行政としてどのような啓発に重点的に取り組むべきと考えますか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。

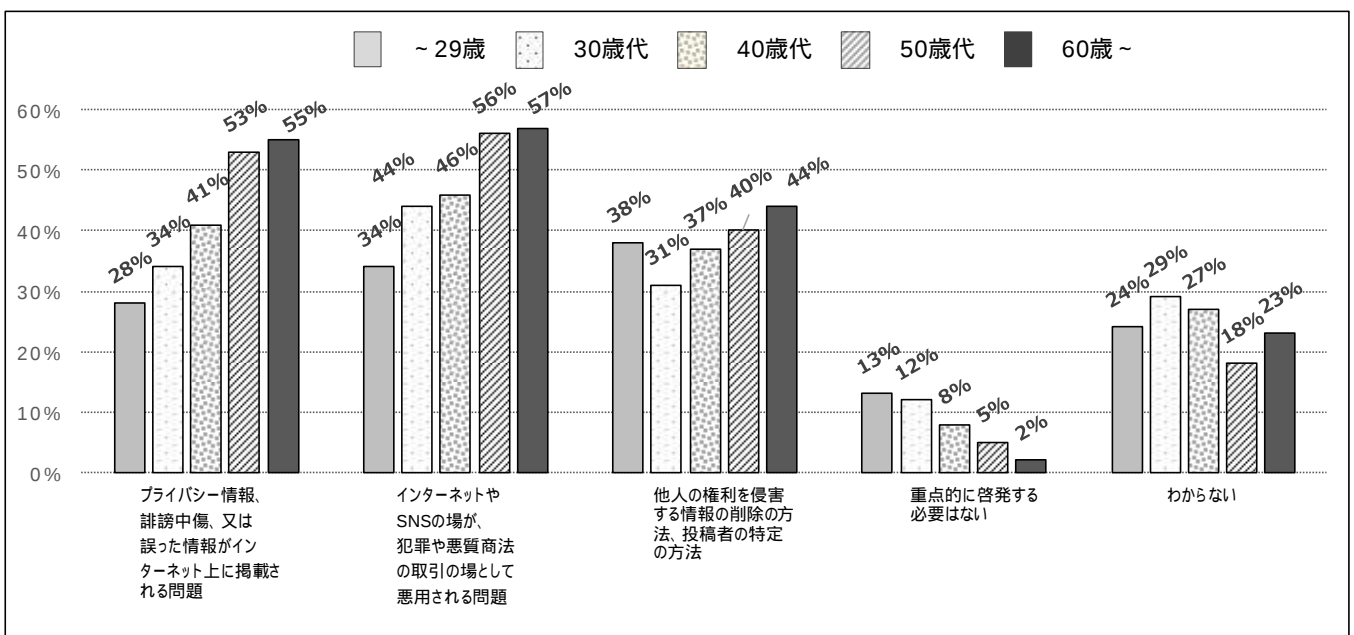
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「インターネットや SNS の場が、犯罪や悪質商法の取引の場として悪用される問題」と答えた人の割合が 47.4%、次いで「プライバシー情報、誹謗中傷、又は誤った情報がインターネット上に掲載される問題」と答えた人の割合が 42.2%、「他人の権利を侵害する情報の削除の方法、投稿者の特定の方法」が 38%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

29 歳以下は「他人の権利を侵害する情報の削除の方法、投稿者の特定の方法」が最も高く、その他の年代は全て「インターネットや SNS の場が、犯罪や悪質商法の取引の場として悪用される問題」が最も高い。



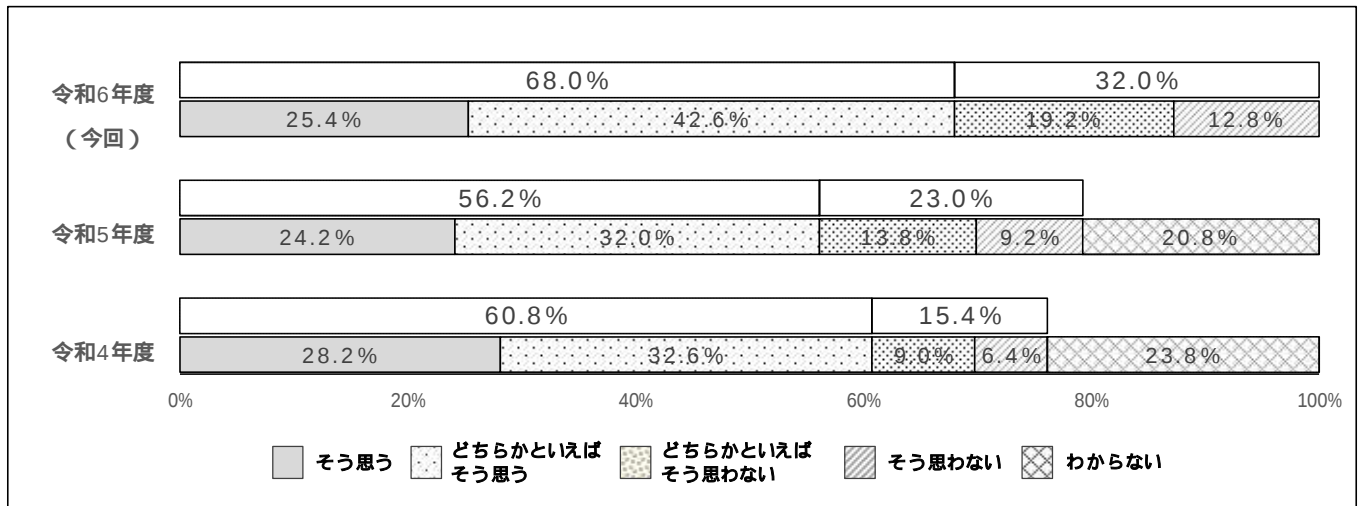
問 2 3 あなたは、特定の人種や民族をさして、社会から排除する発言（「日本からたたき出せ」など）や差別の意識をあおる発言（「〇〇人は犯罪民族」や「〇〇人は危険」など）のような人としての尊厳を傷つけ、社会に差別意識を生じさせるような言動である「ヘイトスピーチ」を許してはならないと思いますか。

令和 4 年度の質問文：あなたは、人種や民族に関して、人としての尊厳を傷つけ、社会に差別意識を生じさせるような言動である「ヘイトスピーチ」を許してはならないと思いますか。

令和 6 年度調査においては、回答選択肢に「わからない」を含まない。

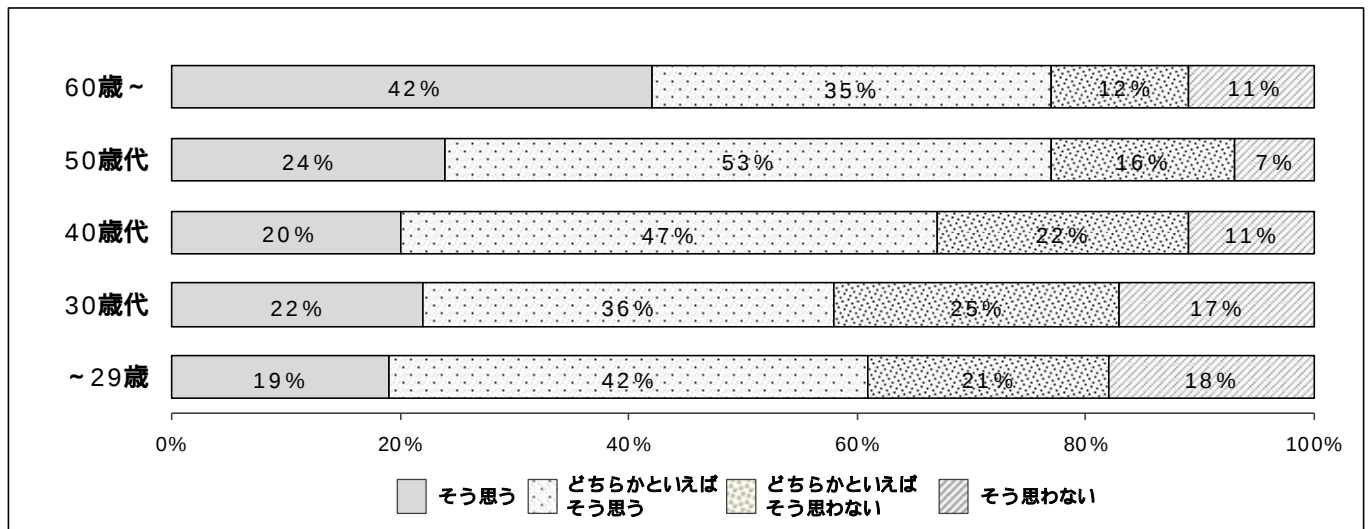
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 68%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は 50 歳代と 60 歳以上が 77%で高くなっており、30 歳代が 58%で最も低い。

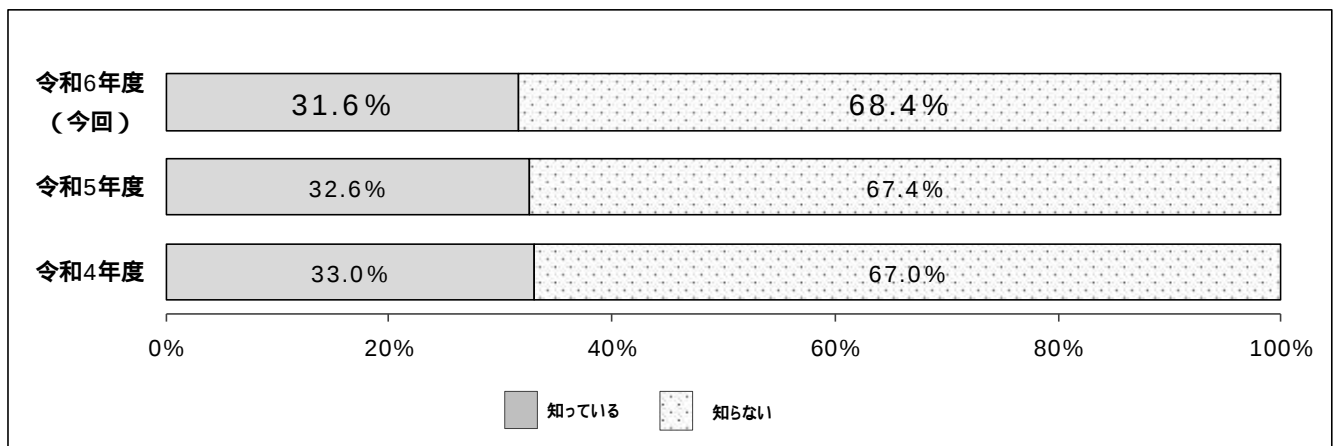


問 2 4 大阪市では、「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」を制定し、これまでヘイトスピーチに該当するとして表現の概要や表現活動を行ったものの名称等を公表するなど、「ヘイトスピーチ」の抑止を図る取組みを行っています。

あなたは、この条例または大阪市が「ヘイトスピーチ」についての取組みを行っていることを知っていますか。

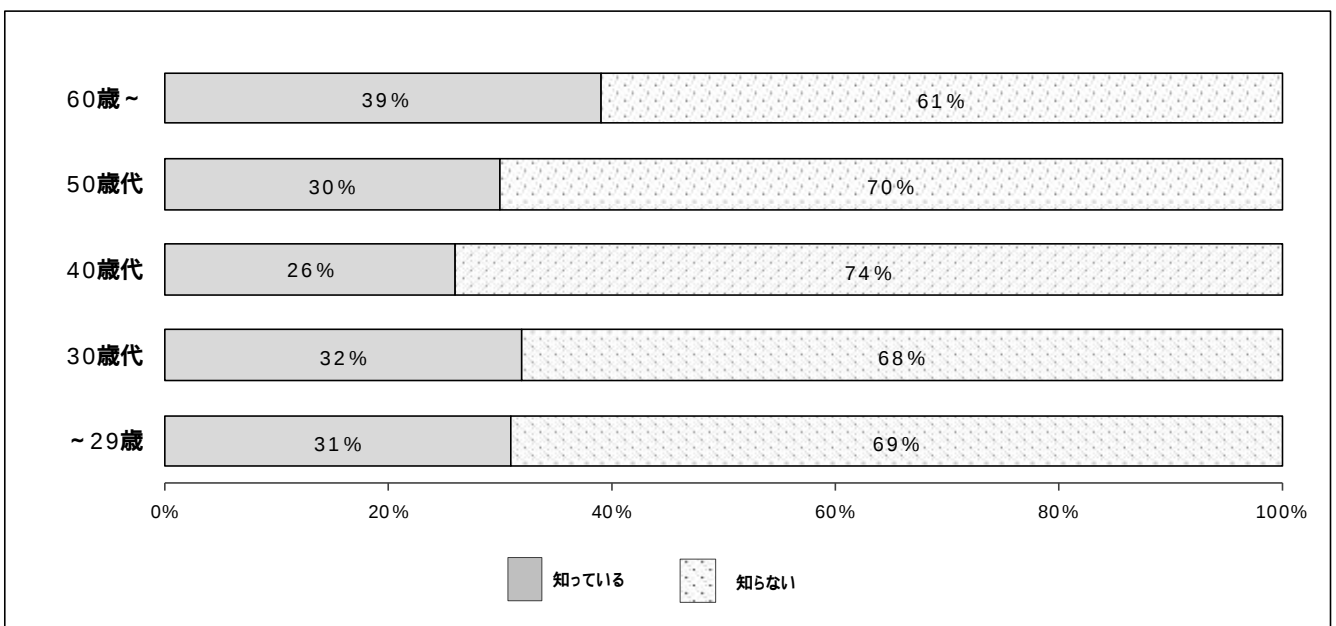
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「知っている」と答えた人の割合は 31.6%である。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

「知っている」と答えた人の割合は、60 歳以上が 39%で最も高く、40 歳代が 26%で最も低い。

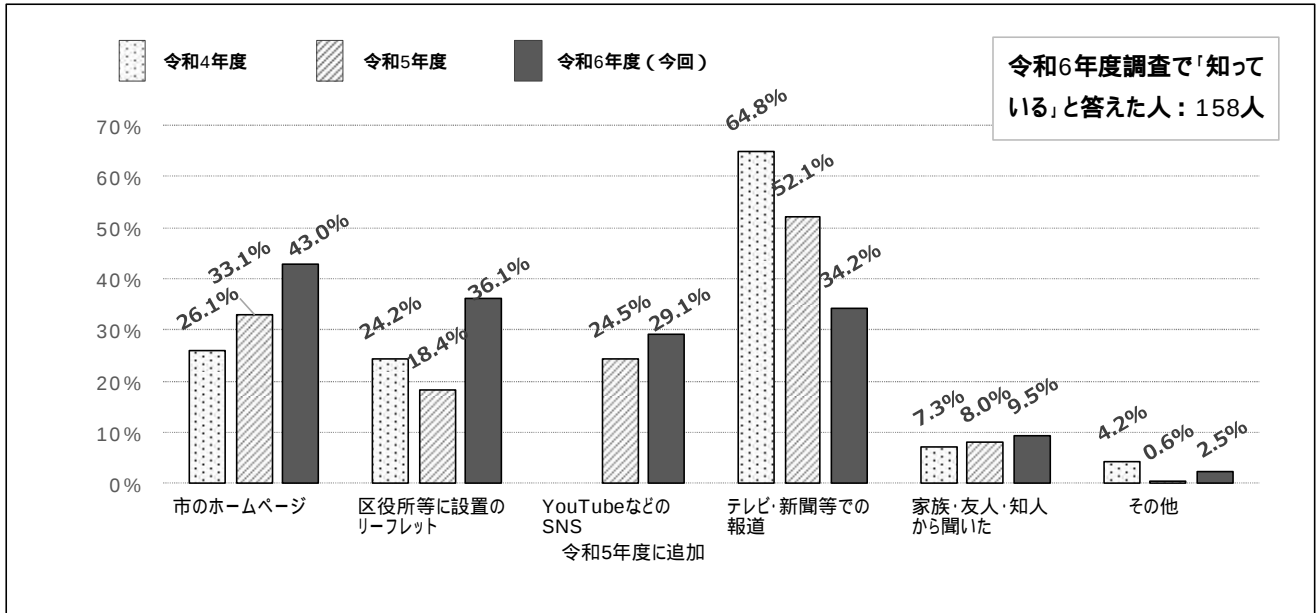


問 2 5 （問 2 4 で「知っている」と回答した方のみ）

あなたは、条例または大阪市が「ヘイトスピーチ」についての取組みを行っていることを何で知りましたか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。

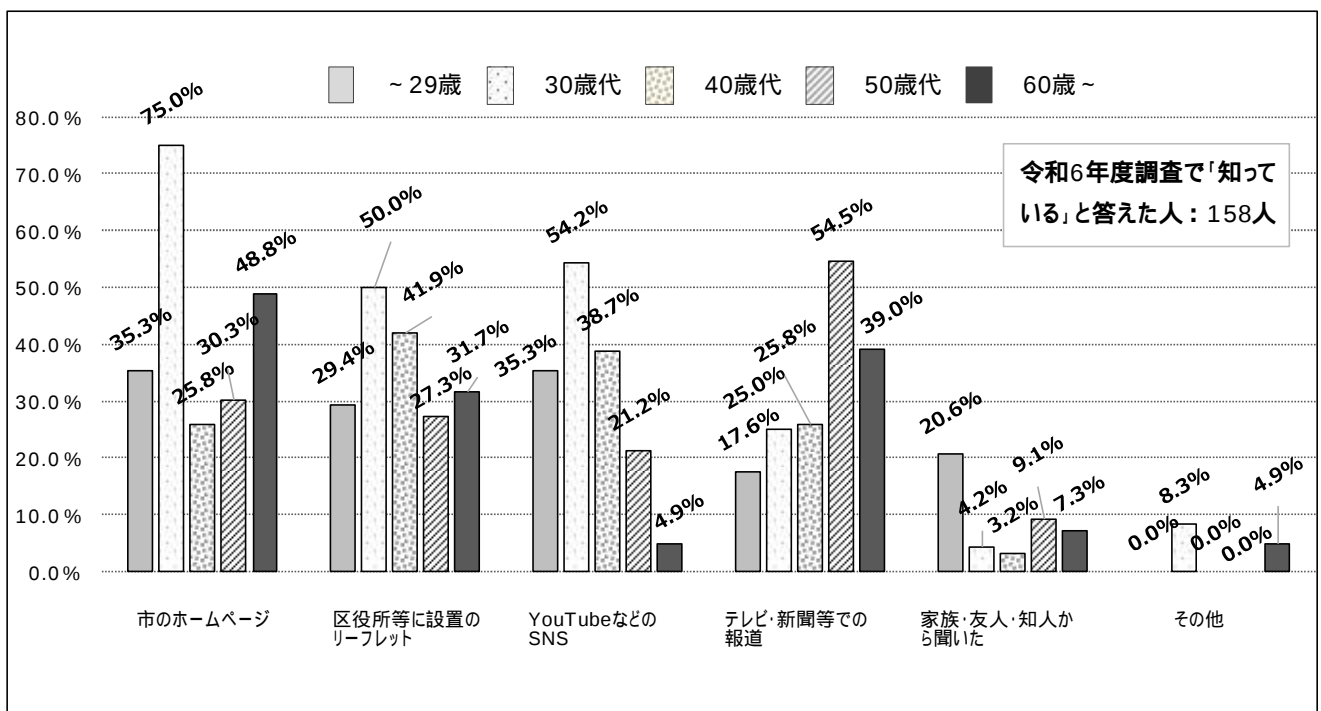
回答の傾向（全体：直近 3 年）

「市のホームページ」が 43% で最も高く、次いで「区役所等に設置のリーフレット」が 36.1% となっている。



回答の傾向（年代別：令和 6 年度）

29 歳以下は「市のホームページ」と「YouTube などの SNS」が高く、30 歳代と 60 歳以上は「市のホームページ」が最も高い。40 歳代は「区役所等に設置のリーフレット」、50 歳代は「テレビ・新聞等での報道」が最も高い。



【参考資料】 民間ネット調査 質問票

説明・質問文	選択肢
質問にあたって、 (1) 「人権が尊重されるまち」指標について 大阪市では、「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」に基づき、大阪府がどれだけ「人権が尊重されるまち」に近づいているかを市民に実感していただくために、本市の施策・事業等について進捗状況や達成目標を示した「人権が尊重されるまち」指標を策定しています。 (2) 「インターネットにおける人権侵害」について 大阪市では、インターネットにおける人権侵害に対して、人権だより「KOKORO ねっと」における特集記事の掲載や、企業を対象にした研修、市ホームページでの啓発を進めてきました。また、インターネット上での人権侵害が社会的な問題となっている状況を踏まえ、大阪市人権啓発・相談センターでの問題解決に向けたアドバイスに加え、弁護士による相談を令和5年6月から実施しています。 (3) 「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」について 大阪市では、人種や民族に関して、人としての尊厳を傷つけ、社会に差別意識を生じさせるような言動である「ヘイトスピーチ」を許さないという認識のもと、市民の人権擁護と「ヘイトスピーチ」の抑止を図るため、「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」に基づき、「ヘイトスピーチ」と認定した案件についての公表や拡散防止の措置に取り組んでいます。 以上の3つの項目について、市民意識を把握し、今後の基礎資料とするため調査を実施します。	

(1) 「人権が尊重されるまち」指標について

問 1 あなたは、「人権」について関心がありますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 関心がある 2 少し関心がある 3 あまり関心がない 4 関心がない
問 2 あなたは、「大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 3 あなたは、「大阪市は男性・女性がともに、仕事や家事、地域での活動に参加し、その個性と能力を十分に発揮できるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 4 あなたは、「大阪市は配偶者・パートナー等からの暴力(DV、身体的暴力だけでなく、精神的・経済的なもの等を含む)の相談が受けられ、安心して暮らせるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 5 あなたは、「大阪市はこどもが各々の個性を発揮し、夢や目標に向かって、いきいきと暮らせるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

問 6 あなたは、「大阪市は子育て家庭が安心してこどもを産み育てられるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 7 あなたは、「大阪市は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 8 あなたは、「大阪市は高齢者がさまざまな活動の場に恵まれ、社会参加を通じ、生きがいを持って暮らせるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 9 あなたは、「大阪市は障がいのある人が就労の機会に恵まれ、自立した生活を営めるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 10 あなたは、「大阪市は障がいのある人がさまざまな生活相談ができ、安心して生活を営めるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 11 あなたは、「大阪市は同和地区 であることを理由に住居や学校を選択する際に避けたり、同和地区出身者が結婚や就職などの際に不利な扱いを受けることのないまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。 同和地区 「同和地区」とは、「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（地対財特法）に基づき、同和問題（部落差別）の解決に向け実施された地域改善対策の対象地域として指定された地域であります。平成 14（2002）年 3 月に「地対財特法」は失効し、事業はすでに終了しています。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 12 大阪市では、「外国人のための相談窓口」の設置をはじめ、三者通話による通訳対応や、多言語・やさしい日本語での情報発信など、誰もが地域で安全に安心して暮らすことができるようにさまざまな取り組みを行っています。 あなたは、「大阪市は外国人住民が、さまざまな相談や情報提供を受けることができるなど、充実した生活が営めるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 13 あなたは、「大阪市は事業者の持つ市民の個人情報保護され、適切に取り扱われているまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 14 大阪市では犯罪被害者等への支援として、総合相談窓口の設置や見舞金の支給、ホームヘルプサービスや配食サービス等の日常生活支援等を実施しています。 あなたは、「大阪市は、犯罪被害者等への支援を推進している」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

問 15 大阪市では、講演会やセミナー、パンフレット等を通じて、犯罪被害者等の置かれている状況の理解促進や支援の必要性などの周知・広報及び啓発に努めています。こうした取組みにより、あなたは、「地域の人々の犯罪被害者等への理解が深まっている」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 16 あなたは、大阪市の犯罪被害者等支援に関して、どのような広報・啓発を見かけたことがありますか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。	1 大阪市ホームページ 2 区広報紙 3 ポスター 4 パンフレット・リーフレット 5 区民まつり等のイベント 6 その他 7 見たことがない
問 17 あなたは、「大阪市はホームレス状態にある人が自立して再び地域社会の中で生活を営めるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 18 あなたは、ここ1～2年の間で、「LGBT」「性的少数者」に関する差別的な言動を受けたり、見聞きしたりしたことはありますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 ある 2 ない 3 わからない
問 19 あなたは、同性愛者やトランスジェンダーの人等、性的少数者が置かれている状況を理解し、自分らしく生きることがを支援したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 20 あなたは、あなたの周りの人から、自分が同性愛者やトランスジェンダーであることなどを打ち明けられたら抵抗を感じると思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 21 大阪市では、平成30年7月からLGBTなどの性的少数者の方を対象とした「大阪市パートナーシップ宣誓証明制度」を実施しています。さらに、令和4年8月からは、パートナーシップ宣誓者の子ども等を含めた「ファミリーシップ制度」を開始しています。 あなたは、「大阪市はLGBTなどの性的少数者の人が差別を受けることなく、自分らしく生きることができるまちである」と思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

(2) インターネットにおける人権侵害

問 22 あなたは、インターネットにおける人権侵害に関することで、行政としてどのような啓発に重点的に取り組むべきと考えますか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。	1 プライバシー情報、誹謗中傷、又は誤った情報がインターネット上に掲載される問題についての啓発 2 インターネットや SNS の場が、犯罪や悪質商法の取引の場として悪用される問題についての啓発 3 他人の権利を侵害する情報の削除の方法、投稿者の特定の方法についての啓発 4 重点的に啓発する必要はない 5 わからない
--	---

(3) 「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」について

問 23 あなたは、特定の人種や民族をさして、社会から排除する発言（「日本からたたき出せ」など）や差別の意識をあおる発言（「〇〇人は犯罪民族」や「〇〇人は危険」など）のような人としての尊厳を傷つけ、社会に差別意識を生じさせるような言動である「ヘイトスピーチ」を許してはならないと思いますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない
問 24 大阪市では、「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」を制定し、これまでヘイトスピーチに該当するとして表現の概要や表現活動を行ったものの名称等を公表するなど、「ヘイトスピーチ」の抑止を図る取り組みを行っています。あなたは、この条例または大阪市が「ヘイトスピーチ」についての取り組みを行っていることを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つお選びください。	1 知っている（問 25 へ） 2 知らない（回答終了）
問 25 問 24 で「1 知っている」と回答した方におたずねします。 あなたは、条例または大阪市が「ヘイトスピーチ」についての取り組みを行っていることを何で知りましたか。次の中からあてはまるものを全てお選びください。	1 市のホームページ 2 区役所等に設置のリーフレット 3 YouTube などの SNS 4 テレビ・新聞等での報道 5 家族・友人・知人から聞いた 6 その他()